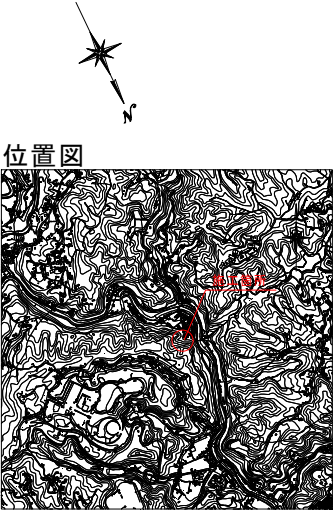
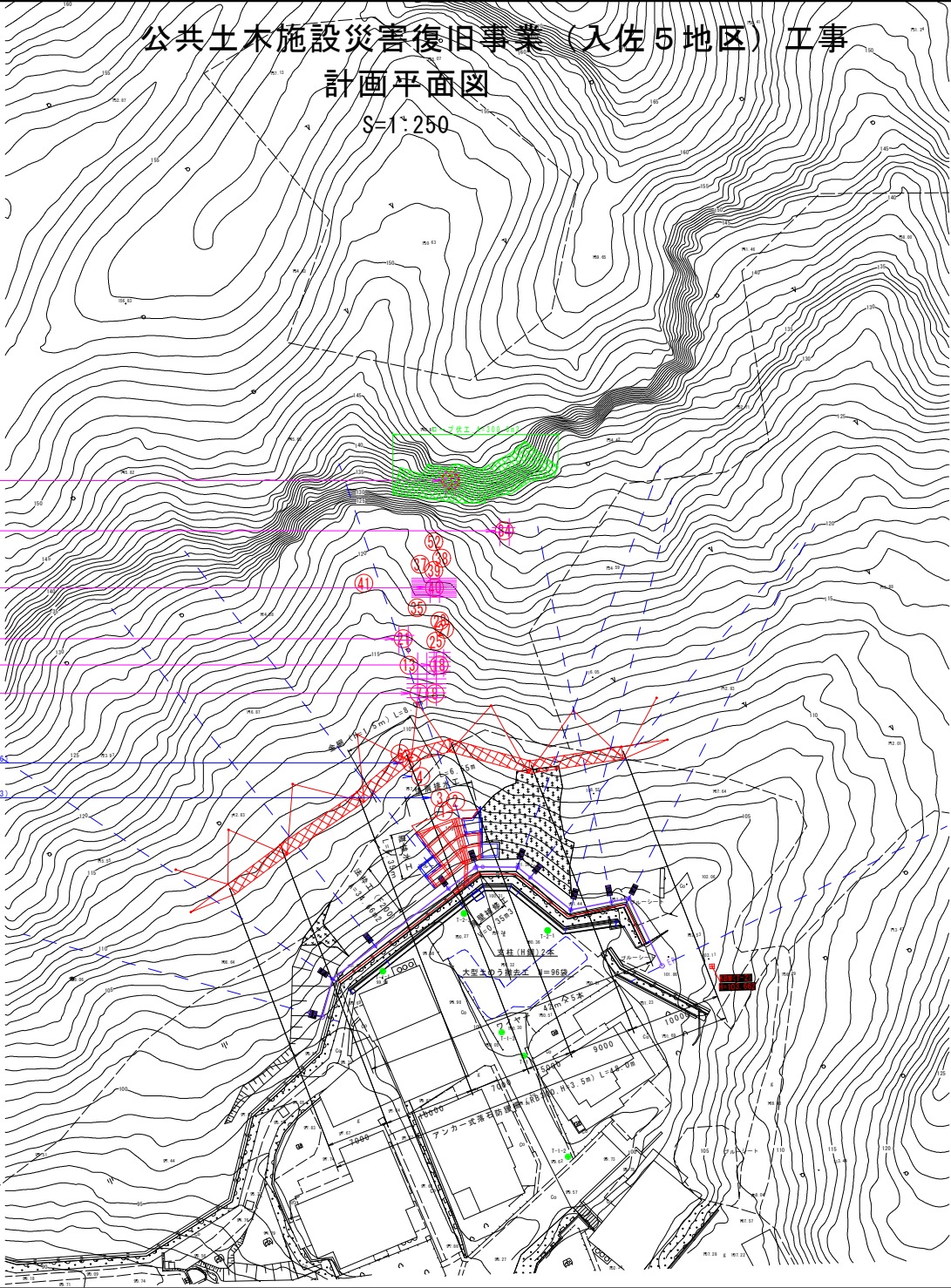


中心線座標一覧表		
点名	X座標	Y座標
BP	86.920	117.786
IP1	83.739	115.030
NO.1	82.478	109.378
NO.2	80.301	99.618
IP2	79.471	95.899
IP3	81.396	91.919
NO.3	82.987	91.146
IP4	88.006	88.710
NO.4	89.099	84.426
IP5	89.572	82.572
EP	97.657	82.470

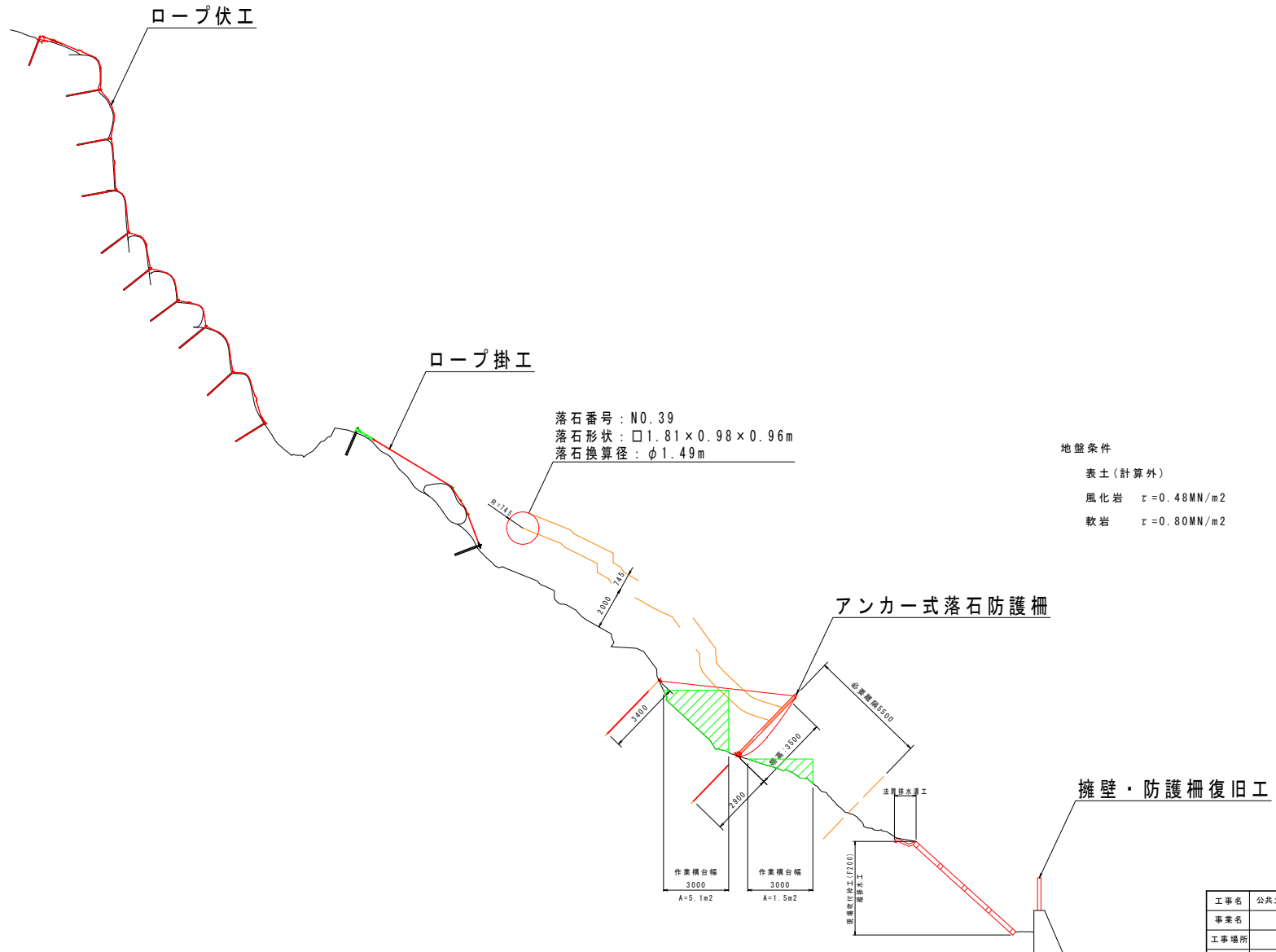
数量総括表			
工種	規格	単位	数量
アンカー式落石防護欄工	削孔工1 φ90 (孔壁非自立)	m	22.9
	削孔工2 φ90 (孔壁自立)	m	19.9
	アンカー鋼材挿入工	本	17
	支柱設置工	箇所	7
	サポート取付工	箇所	6
	サイド取付工	箇所	2
	ネット取付工	スパン	6
緩衝装置取付工		スパン	6
ロープ掛工	ロープ掛工		
	ロープ設置工 φ16	m	554.8
	岩部用アンカー設置工 D29-1000	本	36
	土中用アンカー設置工 R29-1500	本	50
	ロープ伏工		
斜面整理工	斜面整理工	m2	300
	ロープ設置工 φ12	m	1,137.8
	部品取付工 テンションバー	箇所	110
	岩部用アンカー設置工 L=1000	本	55
	土中用アンカー設置工 L=1500	本	9
	端部土中用アンカー設置工 L=1500	本	9
	転石破砕工		
施設復旧工	転石破砕工 セリ矢	m3	7.21
	擁壁復旧コンクリート 18-8-40BB	m3	0.35
	ワイヤーロープ張工 Φ18 5本	m	42
	金網張工 φ3.2×50×50 H=1.5m	m	8
	中間支柱設置工 H1500	本	2
	吹付砕工(面積) F200 2000×2000	m <sup>2</sup>	34.66
	ラス張工	m <sup>2</sup>	34.66
	縦排水路工 W=300	m	6.35
	法肩排水工 ヤゲン式 T=100	m	6.55
	法尻排水工 KW側溝300型	m	2.0
施設補修工	帯工コンクリート 18-8-40BB	m3	7.08
	埋戻コンクリート 18-8-40BB	m3	8.53
	取水水路コンクリート 18-8-40BB	m3	3.1
	張コンクリート 18-8-40BB	m2	37.8
	吸出し防止材敷設工 t=10mm	m2	109.6
	法枠内コンクリート ポーラスコンクリート	m3	15.3
	水切りコンクリート 18-8-40BB	m3	1.3



工事名	公共土木施設災害復旧事業（入佐5地区）工事
事業名	公共土木施設災害復旧事業
工事場所	鹿児島市 犬迫町
図面種類	計画平面図
図面番号	全33の1
作成年月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課	

# 計画断面図

S=1:100



工事名	公共土木施設災害復旧事業（入佐5地区）工事		
事業名	公共土木施設災害復旧事業		
工事場所	鹿児島市 犬迫町		
図面種類	計画断面図		
図面番号	全33の 2	作成年月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課			

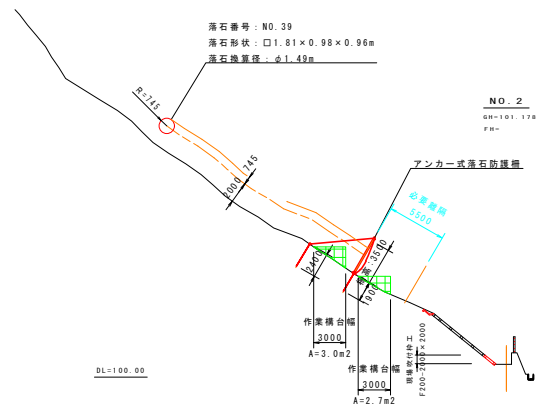
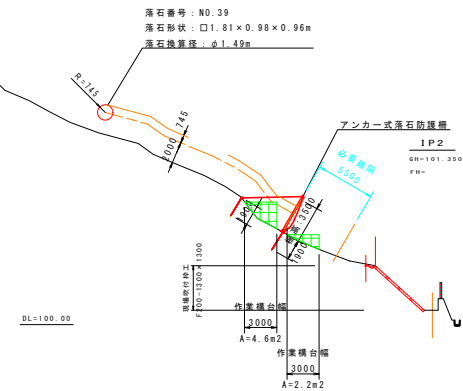
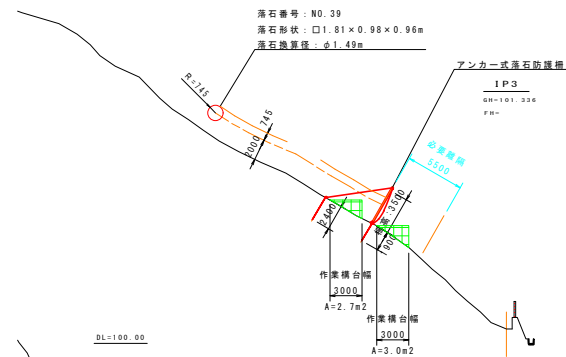
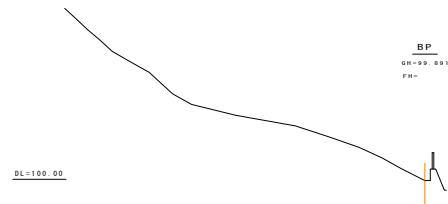
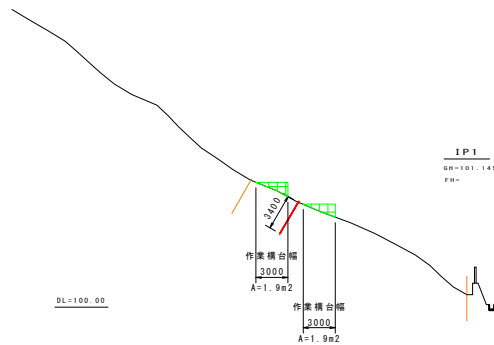
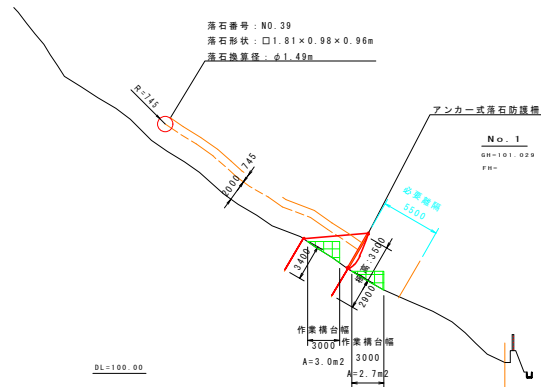
V=1 : 200  
S=1 : 100



測 試 內 容	規 格	測 試 限	注 意 事 項
BP	0.000	0.000	98.881
MD.1~8.4	1.600	1.600	101.029
IP1	2.609	4.209	101.145
MD.1	5.791	10.000	101.029
MD.2~0.9	9.099	19.099	101.162
MD.2	0.901	20.000	101.178
MD.2+1.1	1.099	21.099	101.216
MD.2+5.0	6.219	21.619	101.190
IP3	4.132	28.231	101.136
MD.3	1.769	30.000	101.133
IP4	5.579	55.579	101.000
MD.4	4.421	40.000	101.887
IP5	1.914	41.914	102.101
MD.4+4.3	2.386	44.300	101.887
EP	5.700	50.000	101.106

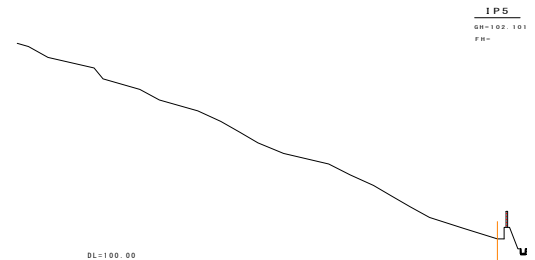
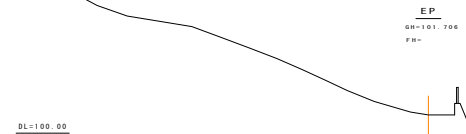
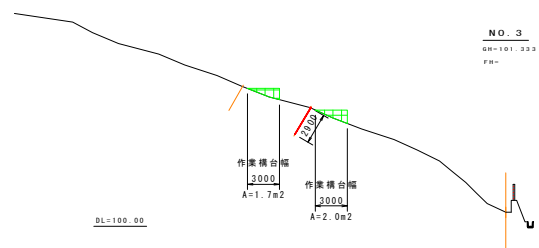
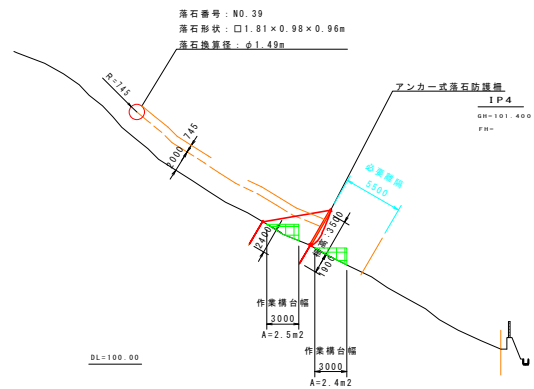
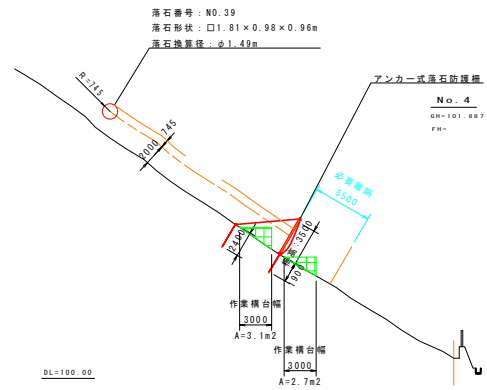
工事名	公共土木施設災害復旧事業（入佐5地区）工事		
事業名	公共土木施設災害復旧事業		
工事場所	鹿児島市 犬迫町		
図面種類	縦断図		
図面番号	全33の 3	作成年月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課			

S=1 : 250



工事名	公共土木施設災害復旧事業（入佐5地区）工事		
事業名	公共土木施設災害復旧事業		
工事場所	鹿児島市 犬迫町		
図面種類	横断面(1/2)		
図面番号	全33の 4	作成年月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課			

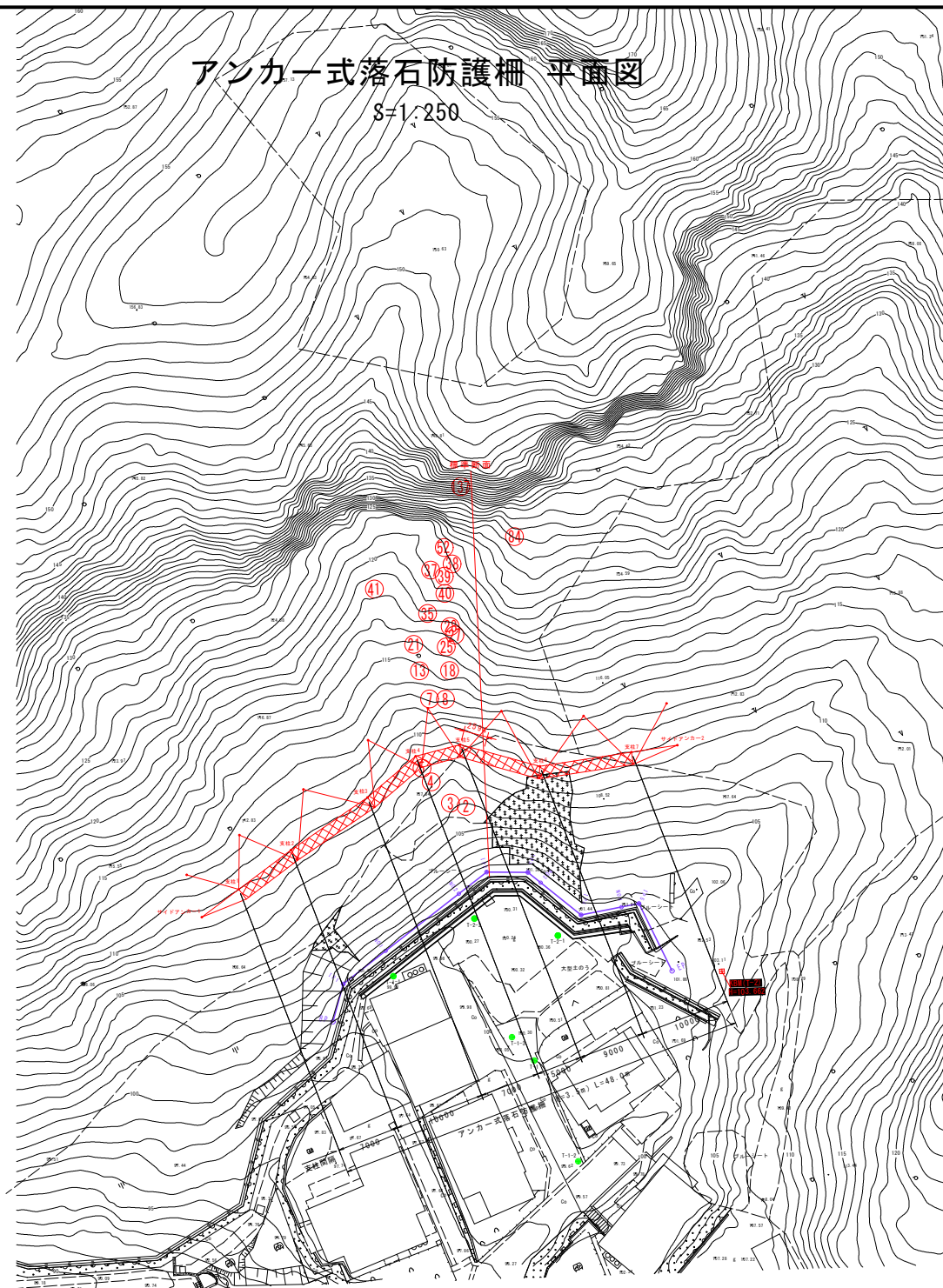
S=1 : 250



工事名	公共土木施設災害復旧事業（入佐5地区）工事		
事業名	公共土木施設災害復旧事業		
工事場所	鹿児島市 犬迫町		
図面種類	横断面（2/2）		
図面番号	全33の5	作成年月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理課 河川港湾課			

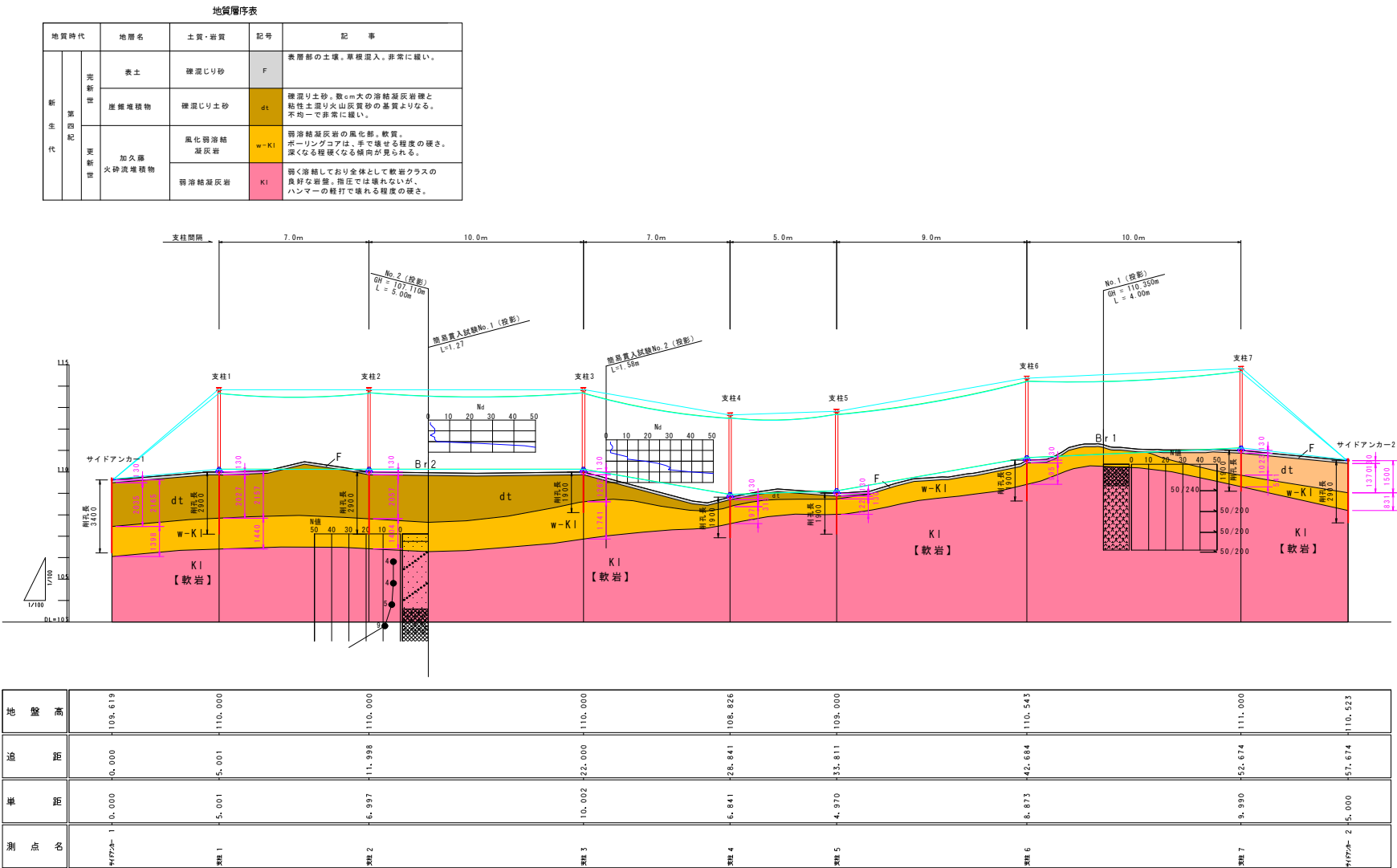
# アンカー式落石防護柵 平面図

S=1:250



工事名	公共土木施設災害復旧事業（入佐5地区）工事		
事業名	公共土木施設災害復旧事業		
工事場所	鹿児島市 犬迫町		
図面種類	アンカー式落石防護柵 平面図		
図面番号	全33の 6	作成年月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課			

アンカー式落石防護柵 縦断面図 S=1:100  
(柵高3.5m)

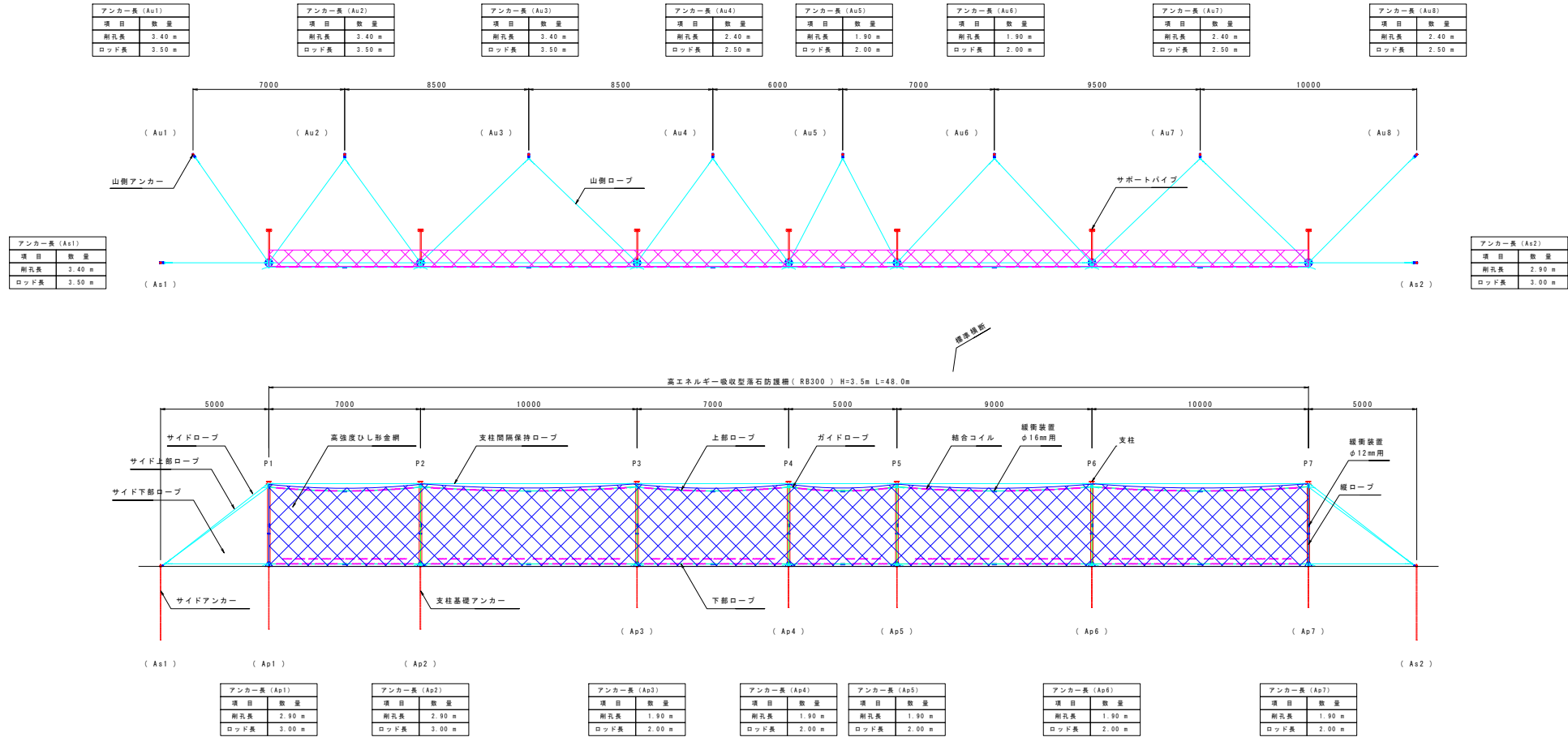


地 段 高									
追 距	-0.000	-5.001	-11.998	-22.000	-28.841	-33.811	-42.684	-52.674	-57.674
単 距	-0.000	-5.001	-6.997	10.002	-6.841	-4.970	-8.873	-8.990	-5.000
測 点 名	※(P)アンカー1	支柱1	支柱2	支柱3	支柱4	支柱5	支柱6	支柱7	※(P)アンカー2

工事名	公共土木施設災害復旧事業（入佐5地区）工事
事業名	公共土木施設災害復旧事業
工事場所	鹿児島市 犬追町
図面種類	アンカー式落石防護柵 縦断面図
図面番号	全33の 7
作成年月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課	



アンカー式落石防護柵 展開図  
S=1:100



防護柵数量表

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
支柱ユニット	H3.5	セット	7	
ネットユニット	H3.5×SL10.0	セット	2	
ネットユニット	H3.5×SL9.0	セット	1	
ネットユニット	H3.5×SL7.0	セット	2	
ネットユニット	H3.5×SL5.0	セット	1	
サポートユニット	H3.5×SL10.0	セット	2	
サポートユニット	H3.5×SL9.0	セット	1	
サポートユニット	H3.5×SL7.0	セット	2	
サポートユニット	H3.5×SL5.0	セット	1	
サイドユニット	H3.5	セット	2	
アンカーユニット	TF26 R32 L=2.0m	セット	7	
アンカーユニット	TF26 R32 L=2.5m	セット	3	
アンカーユニット	TF26 R32 L=3.0m	セット	3	
アンカーユニット	TF26 R32 L=3.5m	セット	4	

- ※ 1 支柱間隔は斜長距離  
※ 2 図中の測点位置は、計画時の目安  
※ 3 展開図は谷側から山側を見ての表示

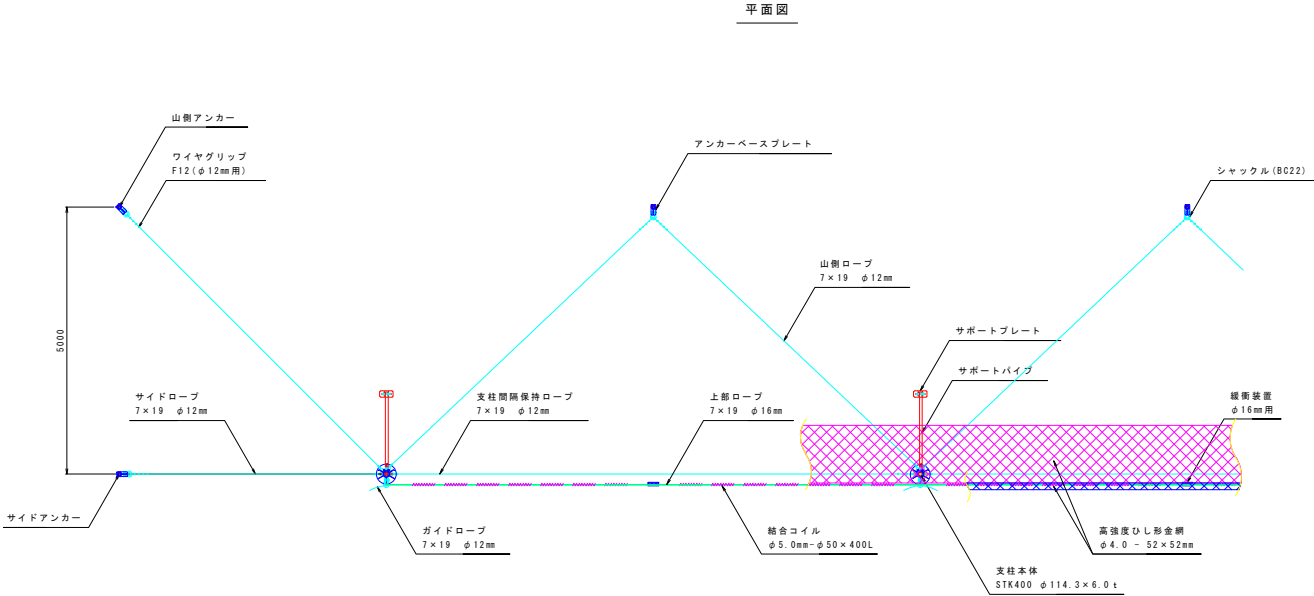
工事名	公共土木施設災害復旧事業（入佐5地区）工事
事業名	公共土木施設災害復旧事業
工事場所	鹿児島市 犬迫町
図面種類	アンカー式落石防護柵 展開図
図面番号	全33の 8
作成年月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課	



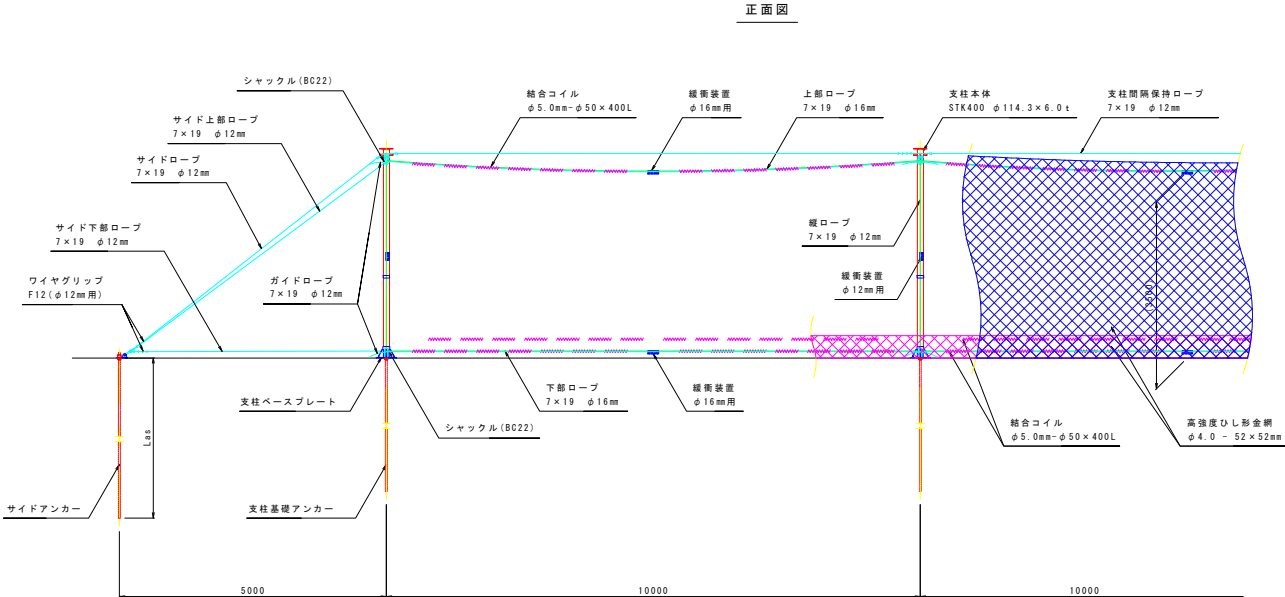
アンカー式落石防護柵 一般構造図(1/4) S=1 : 50

RB300／柵高3.5m／支柱間隔10.0m

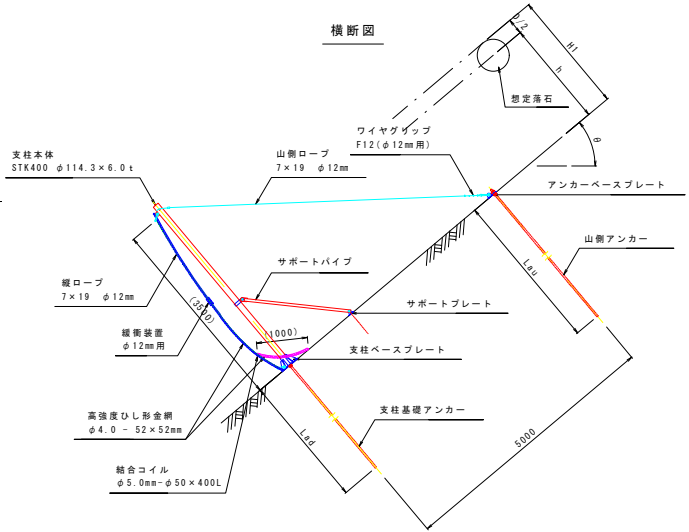
平面図



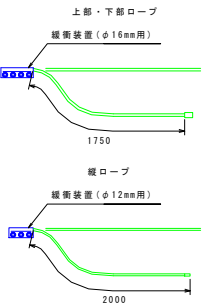
正面図



横断面



スリッ余長概要図



記号	項目	数値
H	標準柵高	3.500 m
H1	必要柵高	2.745 m
h	落石跳躍高	2.000 m
D	落石直径	1.49 m
θ	設計斜面勾配	32.33 °
θp	支柱設置付近勾配	30.0 °

※) 標準柵高Hは、不陸のない平地にて設置した場合の高さです。現地の柵高としては、必要柵高以上を確保します。

アンカー一覧

記号	使用箇所	項目	長さ	耐孔径	耐孔角度	アンカー力	備考
Lau	山側	耐孔長	— m	90 mm	60.0 °	65 kN	
		ロッド長	— m				
Las	サイド	耐孔長	— m	90 mm	60.0 °	65 kN	
		ロッド長	— m				
Lad	支柱基礎	耐孔長	— m	90 mm	60.0 °	30 kN	
		ロッド長	— m				

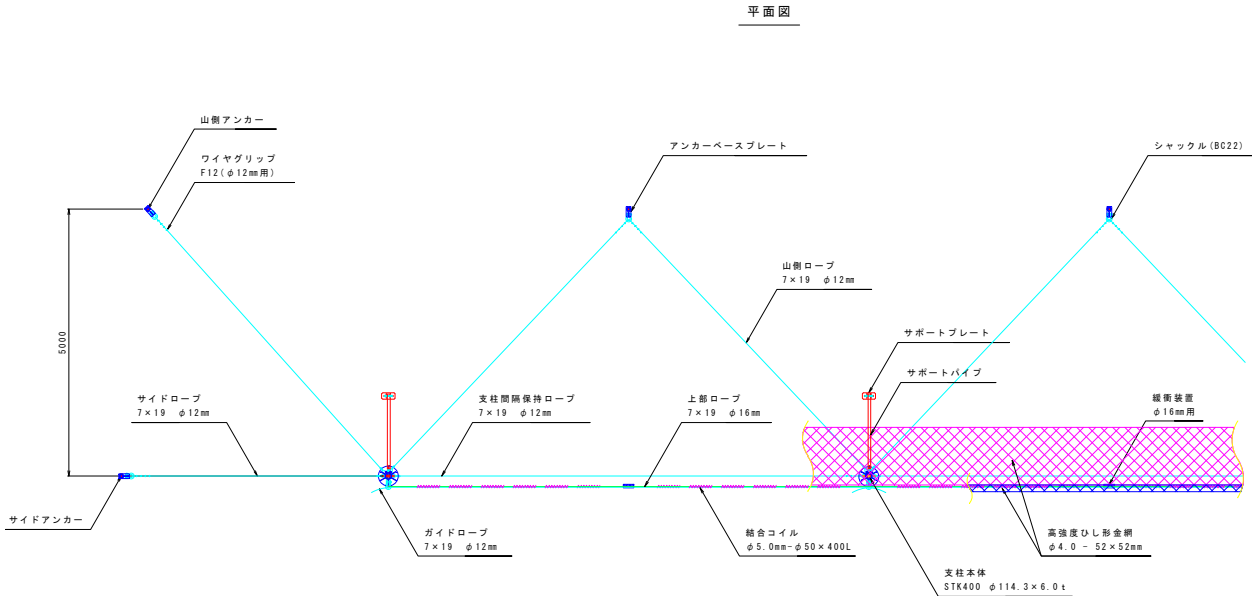
※) アンカー長は、展開図に記載。

工事名	公共土木施設災害復旧事業（入佐5地区）工事
事業名	公共土木施設災害復旧事業
工事場所	鹿児島市 犬迫町
図面種類	アンカー式落石防護柵 一般図(1/4)
図面番号	全33の 9
作成年月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課	

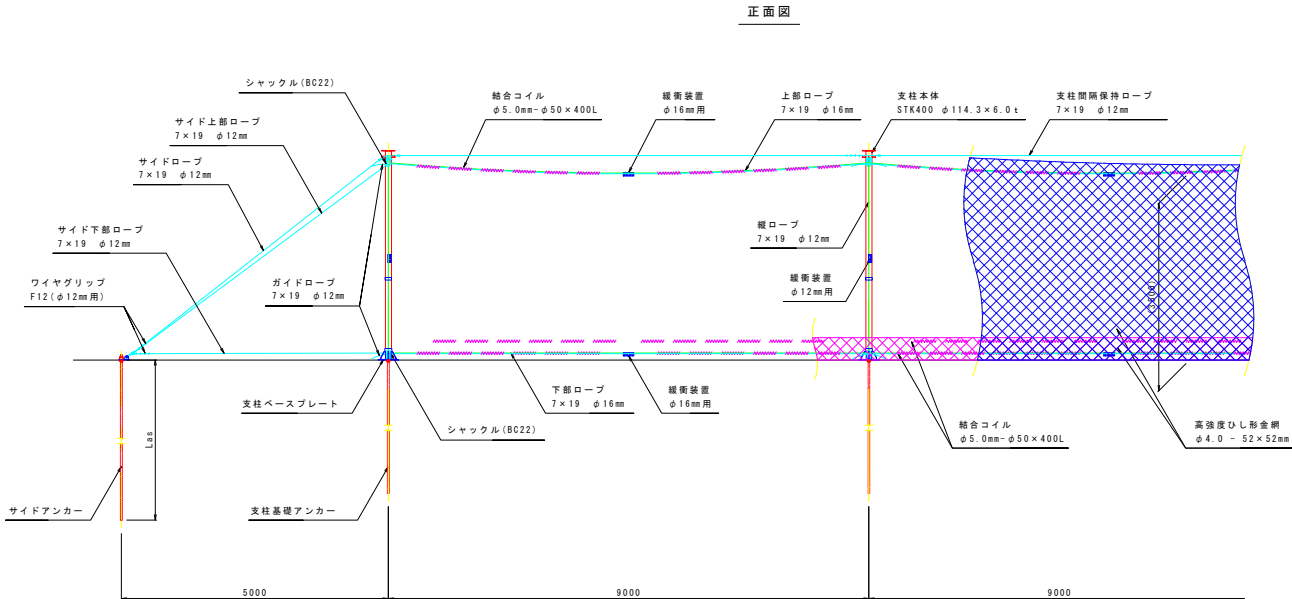
アンカー式落石防護柵 一般構造図 (2/4) S=1 : 50

RB300／柵高3.5m／支柱間隔9.0m

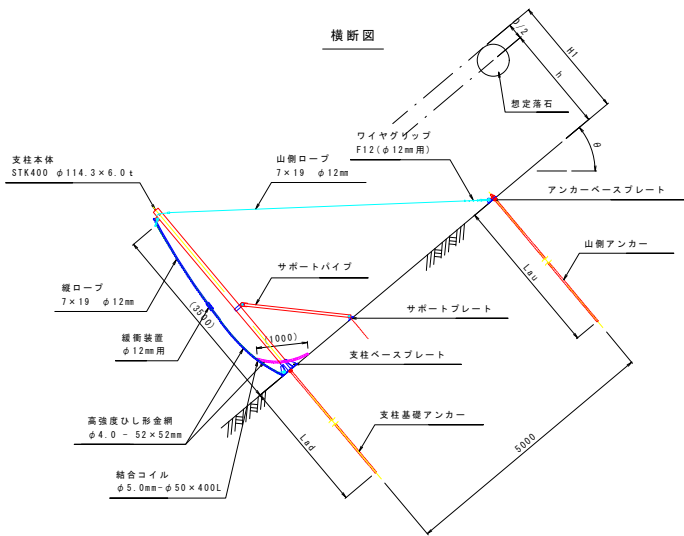
平面図



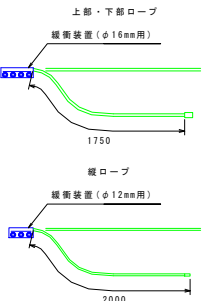
正面図



横断面図



スリップ余長概要図



柵高と落石の関係

記号	項目	数値
H	標準柵高	3.500 m
H1	必要柵高	2.745 m
h	落石跳躍高	2.000 m
D	落石直径	1.49 m
θ	設計斜面勾配	32.33 °
θp	支柱設置付近勾配	30.0 °

※) 標準柵高Hは、不陸のない平地にて設置した場合の高さです。現地の柵高としては、必要柵高以上を確保します。

アンカー一覧

記号	使用箇所	項目	長さ	耐孔径	耐孔角度	アンカー力	備考
Lau	山側	耐孔長	— m	90 mm	60.0 °	65 kN	
		ロッド長	— m				
Las	サイド	耐孔長	— m	90 mm	60.0 °	65 kN	
		ロッド長	— m				
Lad	支柱基礎	耐孔長	— m	90 mm	60.0 °	30 kN	
		ロッド長	— m				

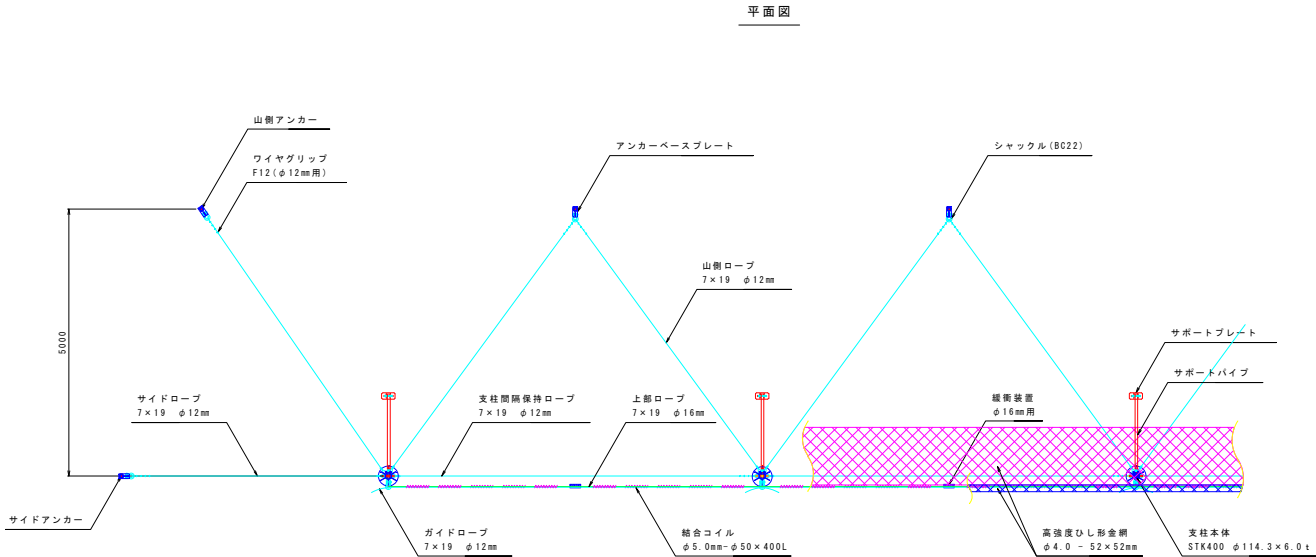
※) アンカー長は、展開図に記載。

工事名	公共土木施設災害復旧事業 (入佐5地区) 工事
事業名	公共土木施設災害復旧事業
工事場所	鹿児島市 犬迫町
図面種類	アンカー式落石防護柵 一般図 (2/4)
図面番号	全33の10
作成年月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課	

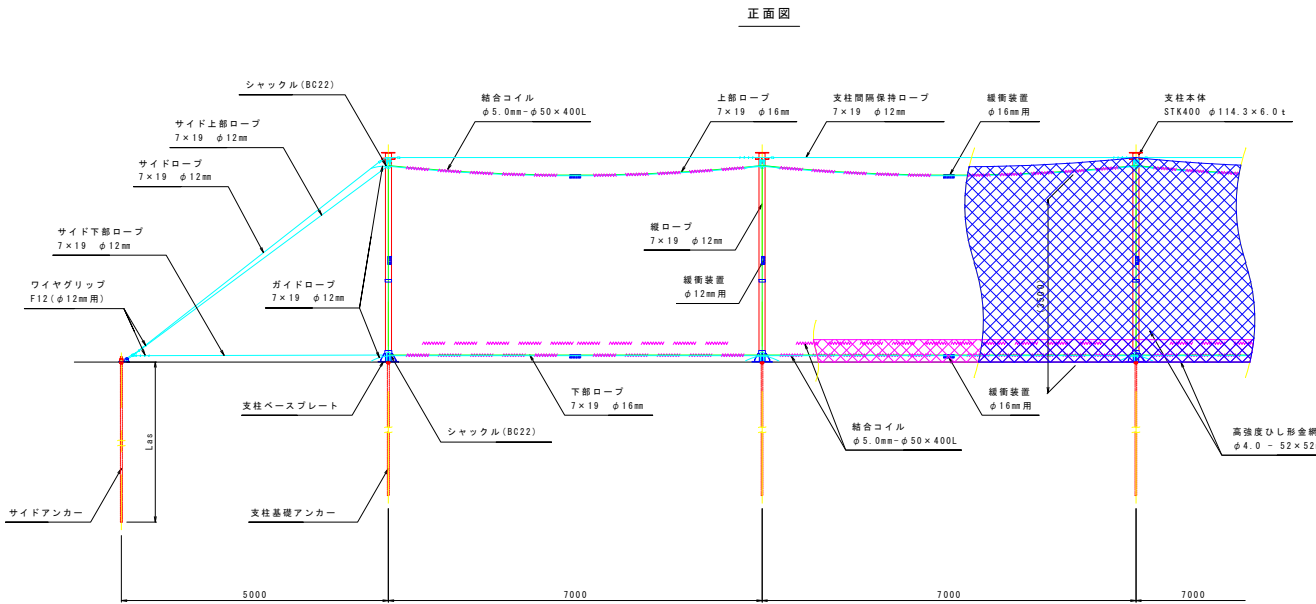
アンカー式落石防護柵 一般構造図(3/4) S=1 : 50

RB300／柵高3.5m／支柱間隔7.0m

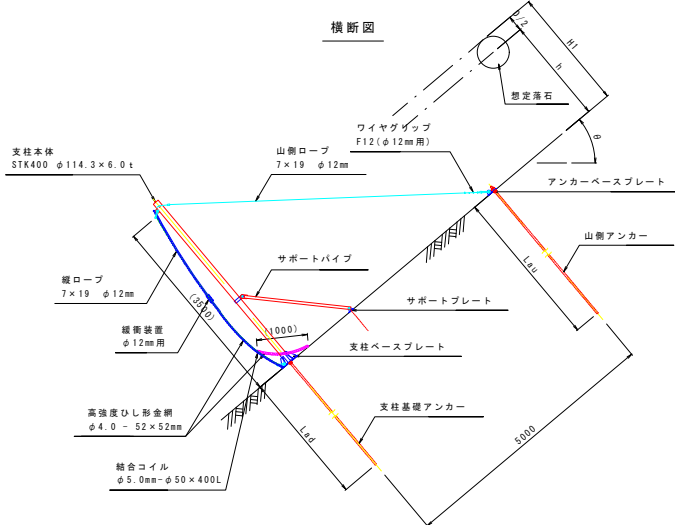
平面図



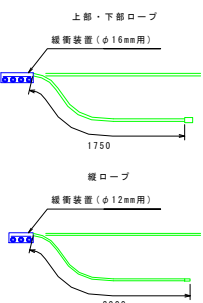
正面図



横断面



スリッ余長概要図



記号	項目	数値
H	標準柵高	3.500 m
H1	必要柵高	2.745 m
h	落石跳躍高	2.000 m
D	落石直径	1.49 m
θ	設計斜面勾配	32.33 °
θp	支柱設置付近勾配	30.0 °

※) 標準柵高Hは、不陸のない平地にて設置した場合の高さです。現地の柵高としては、必要柵高以上を確保します。

アンカー一覧

記号	使用箇所	項目	長さ	耐力	耐力角度	アンカー力	備考
Lau	山側	耐力長	— m	90 mm	60.0 °	65 kN	
		ロッド長	— m				
Las	サイド	耐力長	— m	90 mm	60.0 °	65 kN	
		ロッド長	— m				
Lad	支柱基礎	耐力長	— m	90 mm	60.0 °	30 kN	
		ロッド長	— m				

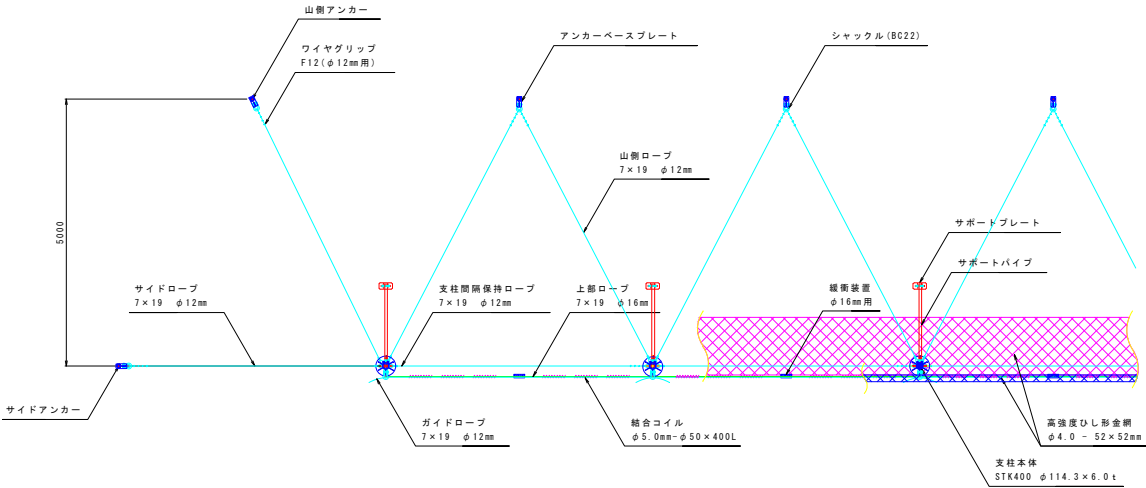
※) アンカー長は、展開図に記載。

工事名	公共土木施設災害復旧事業 (入佐5地区) 工事
事業名	公共土木施設災害復旧事業
工事場所	鹿児島市 犬迫町
図面種類	アンカー式落石防護柵 一般図 (3/4)
図面番号	全3の11
作成年月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課	

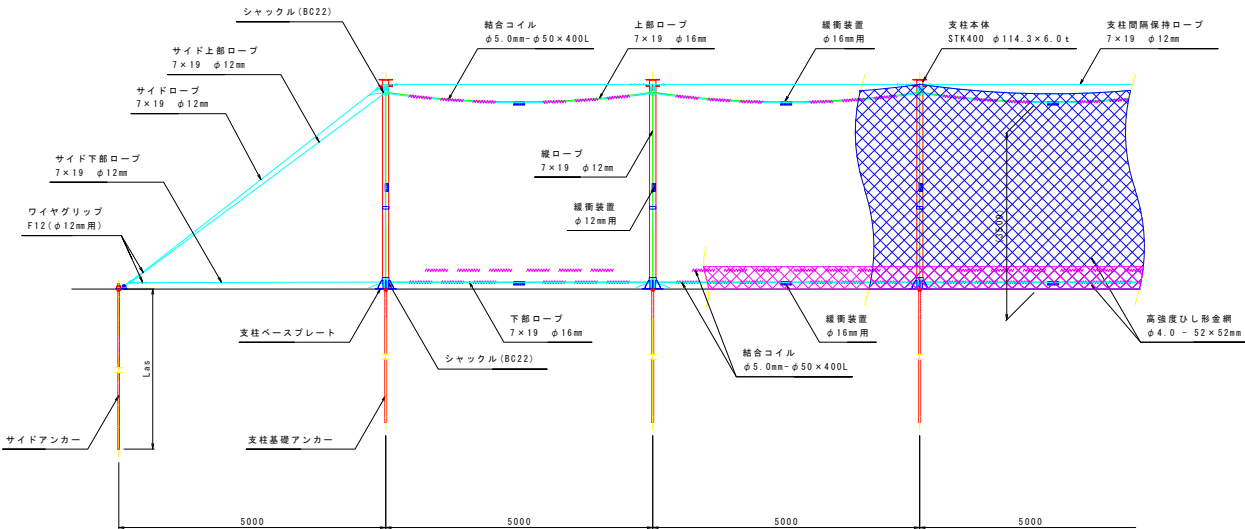
アンカー式落石防護柵 一般構造図(4/4) S=1 : 50

RB300／柵高3.5m／支柱間隔5.0m

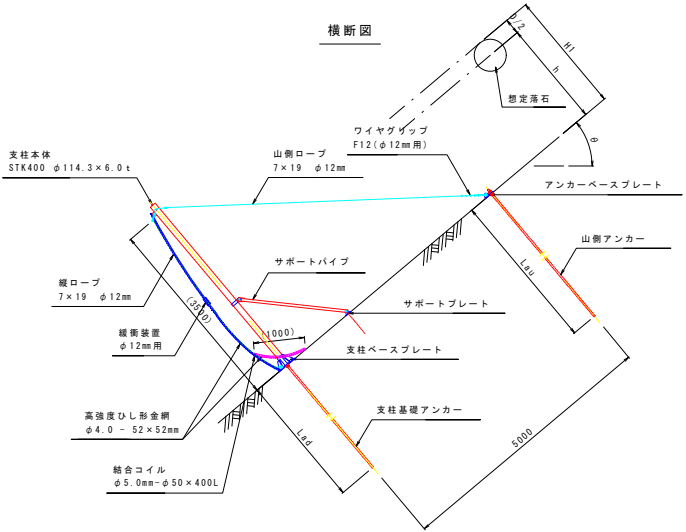
平面図



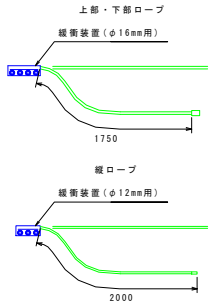
正面図



横断面図



スリップ余長概要図



柵高と落石の関係		
記号	項目	数値
H	標準柵高	3.500 m
H1	必要柵高	2.745 m
h	落石跳躍高	2.000 m
D	落石直径	1.49 m
θ	設計斜面勾配	32.33 °
θp	支柱設置付近勾配	30.0 °

※) 標準柵高Hは、不陸のない平地にて設置した場合の高さです。現地の柵高としては、必要柵高以上を確保します。

アンカー一覧

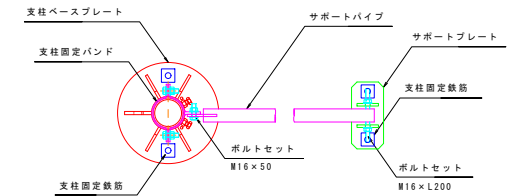
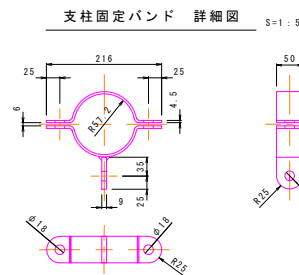
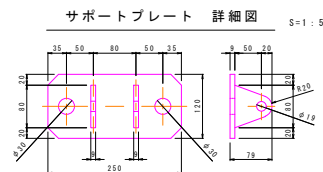
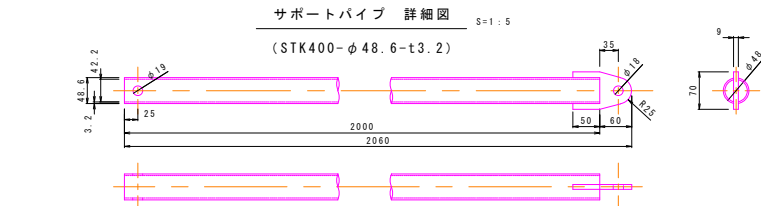
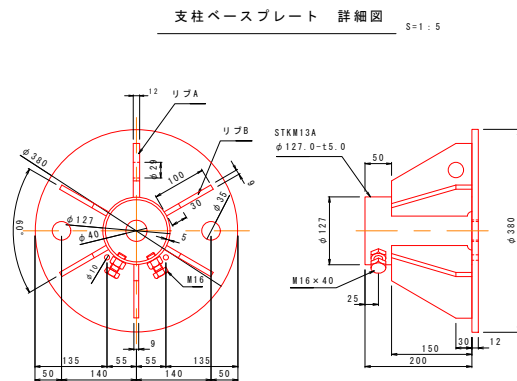
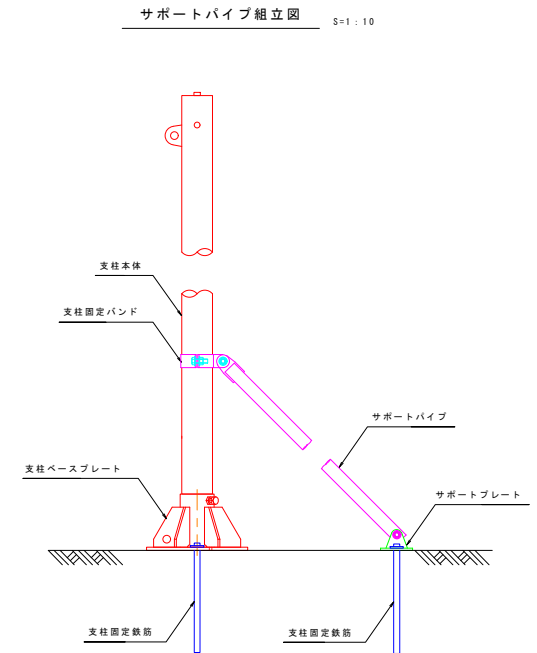
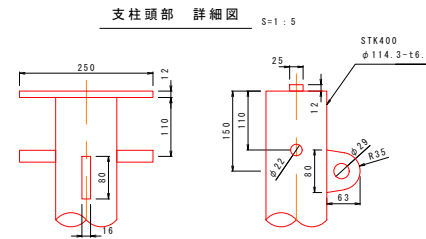
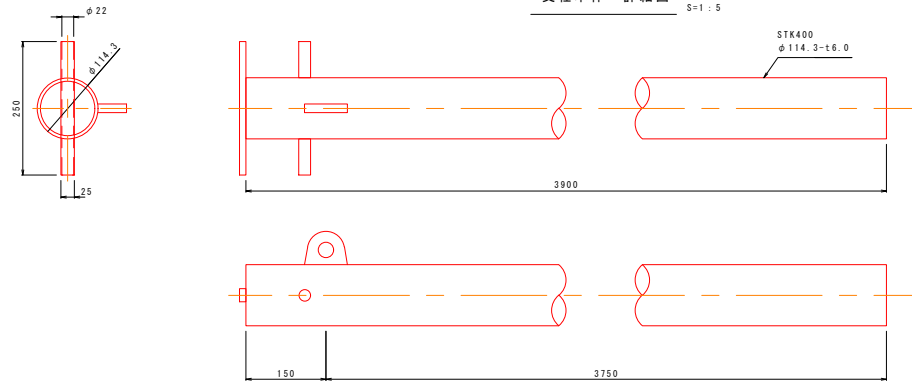
記号	使用箇所	項目	長さ	耐孔径	耐孔角度	アンカー力	備考
Lau	山側	耐孔長	— m	90 mm	60.0°	65 kN	
		ロッド長	— m				
Las	サイド	耐孔長	— m	90 mm	60.0°	65 kN	
		ロッド長	— m				
Lad	支柱基礎	耐孔長	— m	90 mm	60.0°	30 kN	
		ロッド長	— m				

※) アンカー長は、展開図に記載。

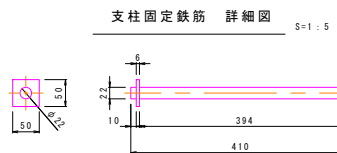
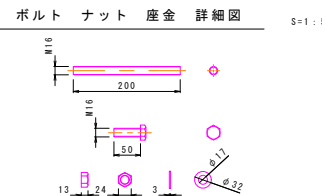
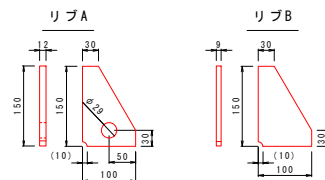
工事名	公共土木施設災害復旧事業（入佐5地区）工事		
事業名	公共土木施設災害復旧事業		
工事場所	鹿児島市 犬迫町		
図面種類	アンカー式落石防護柵 一般図(4/4)		
図面番号	全33の12	作成年月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課			

# アンカー式落石防護柵 部材詳細図(1/3)

RB300/柵高 3.5 m  
支柱ユニット



リブ (支柱ベースプレート) 詳細図 S=1:5



※注 支柱ベースプレートの設置箇所周辺は、支柱が所定の角度にて設置できるようあらかじめ小石・雑草等の異物を取り除き整形する必要があります。

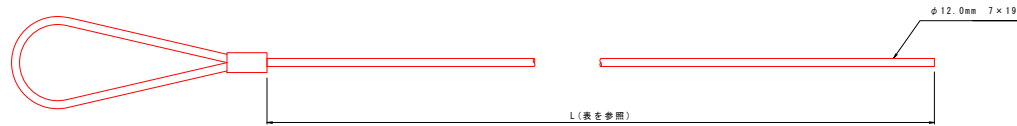
工事名	公共土木施設災害復旧事業 (入佐5地区) 工事
事業名	公共土木施設災害復旧事業
工事場所	鹿児島市 犬迫町
図面種類	アンカー式落石防護柵 部材詳細図 (1/3)
図面番号	全33の13
作成年月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課	

# アンカー式落石防護柵 部材詳細図 (2/3)

RB300／柵高 3.5 m  
ワイヤロープ等

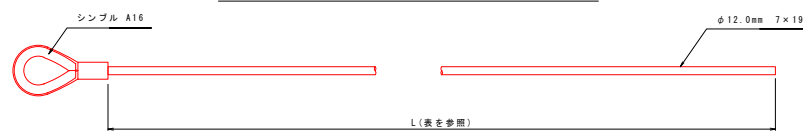
(A) 支柱間隔保持／(B) 山側／(C) サイドロープ 詳細図

S=1:4



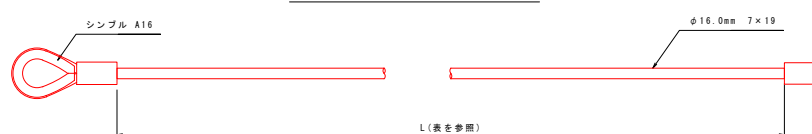
(D) サイド上部／(E) サイド下部ロープ 詳細図

S=1:4



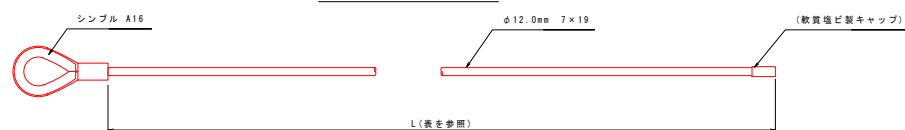
(F) 上部／下部ロープ 詳細図

S=1:4



(G) 縦ロープ 詳細図

S=1:4



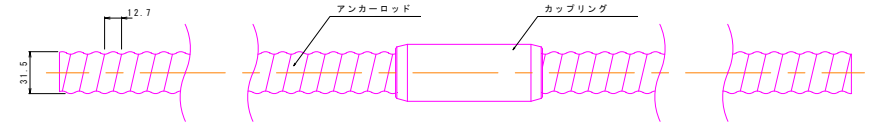
(H) ガイドロープ 詳細図

S=1:4



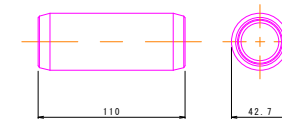
アンカー 詳細図

S=1:2

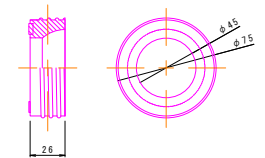


アンカーカップリング 詳細図

S=1:2

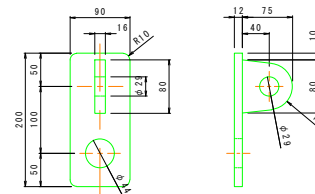


アンカーワッシャー 詳細図

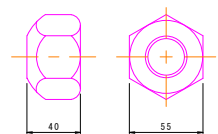


アンカーベースプレート 詳細図

S=1:4



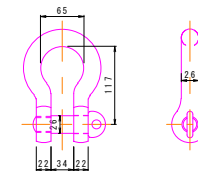
アンカーナット 詳細図



シャックル 詳細図

S=1:4

(BC 22)



ワイヤロープ有効長一覧

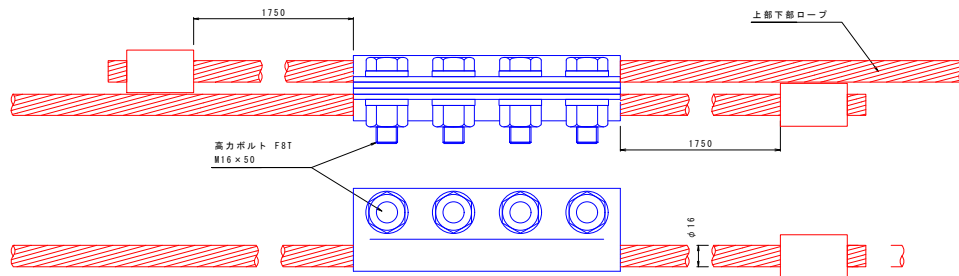
支柱間隔 (m)	10.0	9.0	7.0	5.0
ワイヤロープ名称	有効長L (m)	有効長L (m)	有効長L (m)	有効長L (m)
A 支柱間隔保持ロープ	11.5	10.5	8.5	6.5
B 山側ロープ	10.5	10.5	10.5	10.5
C サイドロープ	8.5	8.5	8.5	8.5
D サイド上部ロープ	8.5	8.5	8.5	8.5
E サイド下部ロープ	7.5	7.5	7.5	7.5
F 上部下部ロープ	7.4	6.9	5.9	4.9
G 縦ロープ	3.9	3.9	3.9	3.9
H ガイドロープ	11.0	10.0	8.0	6.0

工事名	公共土木施設災害復旧事業 (入佐5地区) 工事		
事業名	公共土木施設災害復旧事業		
工事場所	鹿児島市 犬追町		
図面種類	アンカー式落石防護柵 部材詳細図 (2/3)		
図面番号	全33の14	作成年月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理部	河川港湾課		

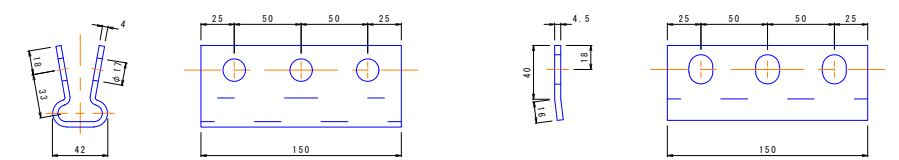
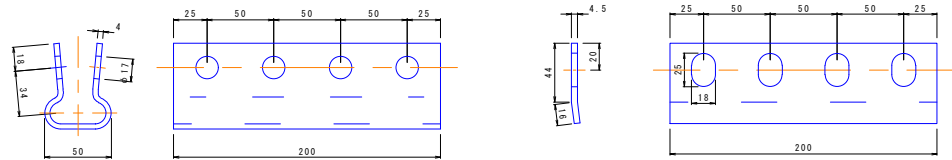
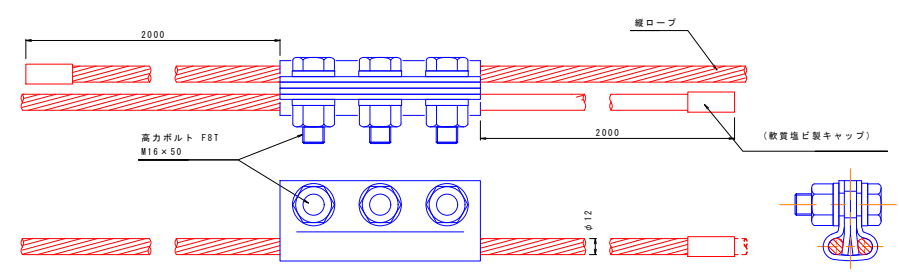
# アンカー式落石防護柵 部材詳細図 (3/3) S=1 : 2

RB300  
高強度ひし形金網、緩衝装置等

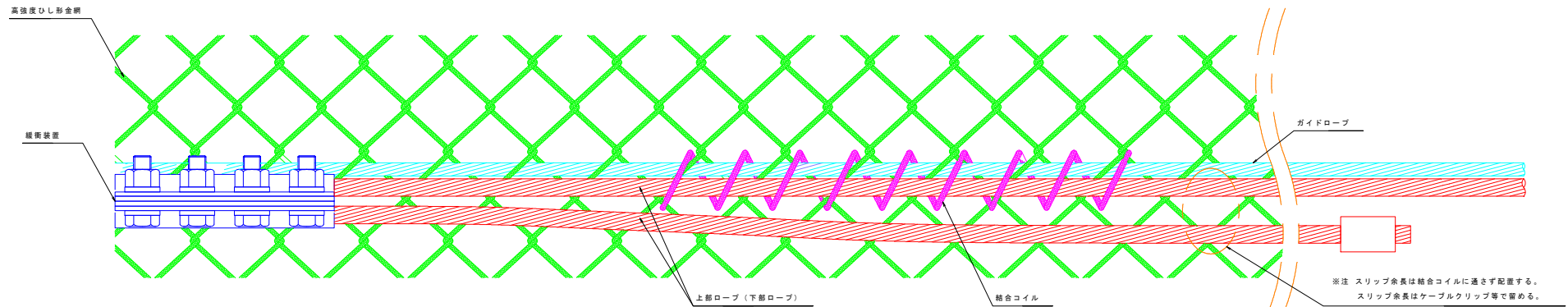
緩衝装置 (φ16mm用) 詳細図



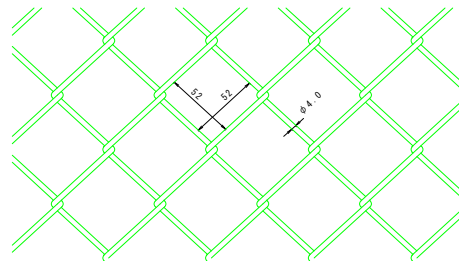
緩衝装置 (φ12mm用) 詳細図



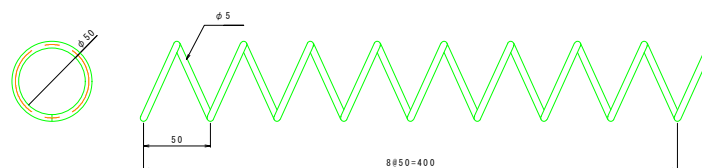
上部ロープ、下部ロープ等組立図



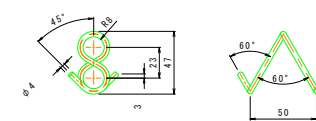
高強度ひし形金網 詳細図



結合コイル (φ5) 詳細図



ケーブルクリップ (φ16用) 詳細図

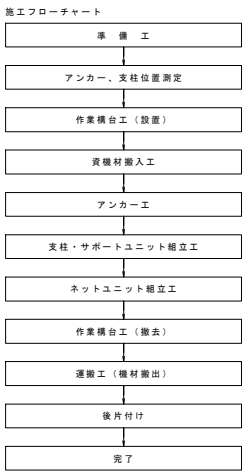
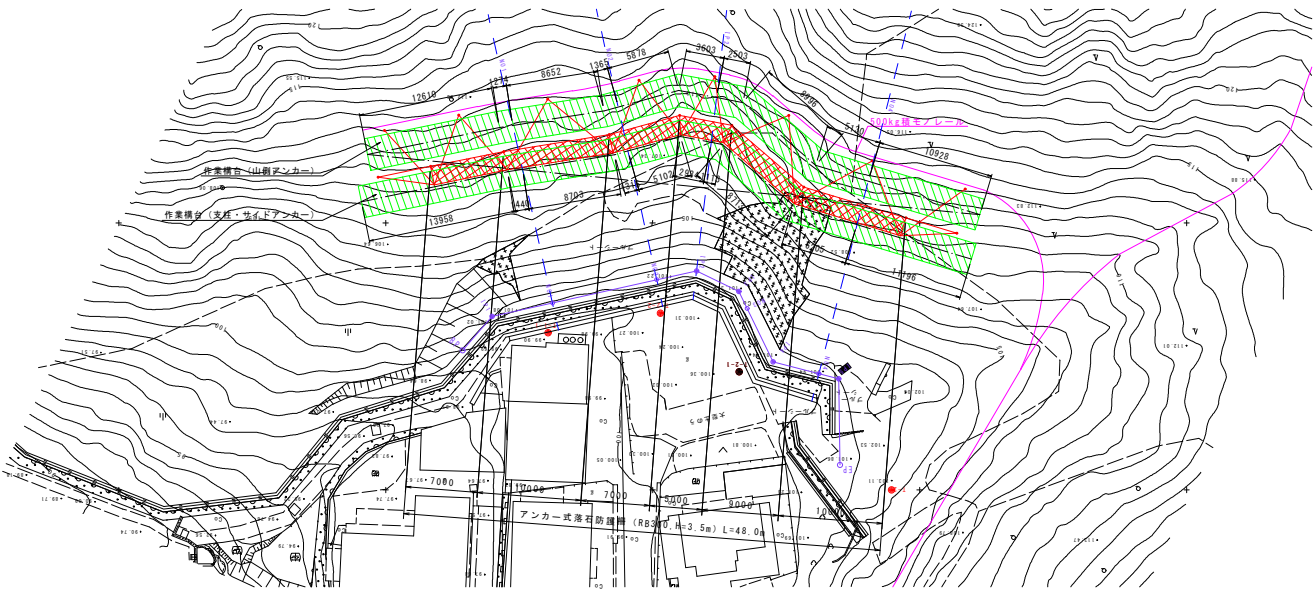


工事名	公共土木施設災害復旧事業 (入佐5地区) 工事
事業名	公共土木施設災害復旧事業
工事場所	鹿児島市 犬迫町
図面種類	アンカー式落石防護柵 部材詳細図 (3/3)
図面番号	全33の15
作成年月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課	

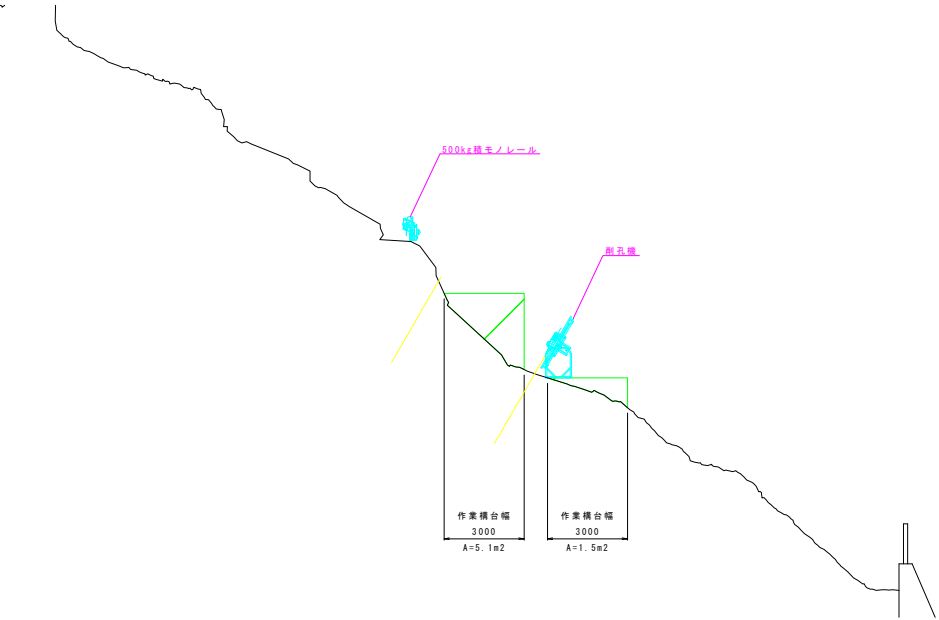


# アンカー式落石防護柵 施工計画図

平面図 S=1:250



横断面図 S=1:100



測点間距離

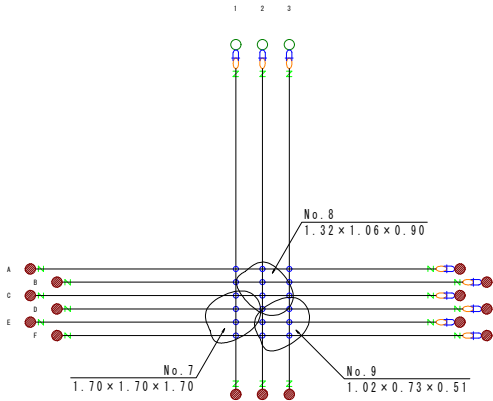
	支柱・サイドアンカー	山側アンカー
BP	0.00	0.00
IP.1	5.30	2.40
No.1	10.10	11.50
No.2	10.00	10.00
IP.2	8.00	9.50
標準断面	3.80	5.00
IP.3	8.40	10.20
No.4	3.90	1.40
IP.4	2.20	4.10
No.3	1.60	4.40
EP	7.40	2.40

工事名	公共土木施設災害復旧事業（入佐5地区）工事		
事業名	公共土木施設災害復旧事業		
工事場所	鹿児島市 犬迫町		
図面種類	アンカー式落石防護柵 施工計画図		
図面番号	全33の16	作成年月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課			

ロープ掛工 展開図 (1/2)  
S=1:100

1 (NO. 7)

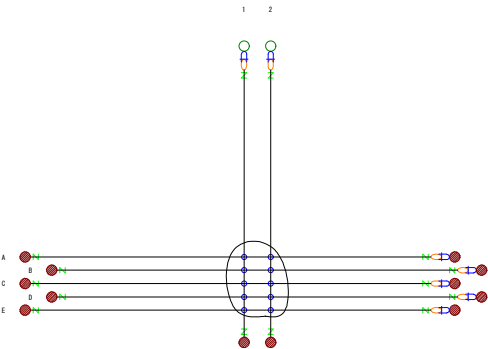
No	種 ロープ長
1	12.00
2	12.00
3	12.00
合計	36.00



No	種 ロープ長
A	15.00
B	15.00
C	15.00
D	15.00
E	15.00
F	15.00
合計	90.00

2 (NO. 18)

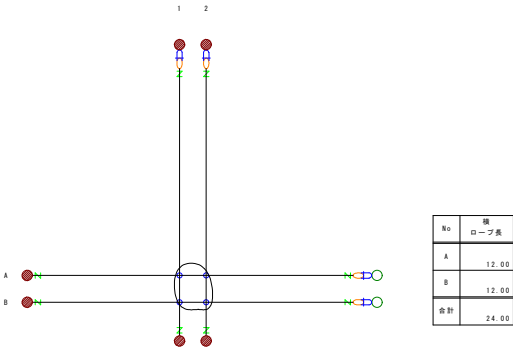
No	種 ロープ長
1	10.00
2	10.00
合計	20.00



No	種 ロープ長
A	15.00
B	15.00
C	15.00
D	15.00
E	15.00
合計	75.00

3 (NO. 21)

No	種 ロープ長
1	10.00
2	10.00
合計	20.00



No	種 ロープ長
A	12.00
B	12.00
合計	24.00

部材数量表

記号	名 称	規 格・寸 法	数 量	計 算 式
—	縦ロープ	16φ 3×7 6/0	34.8 m	26.00 - 0.20×2×3=34.80
—	横ロープ	16φ 3×7 6/0	87.6 m	90.00 - 0.20×2×6=87.60
+	クロスクリップ	大	18 個	3×6=18
+	巻付グリップ	16φ用	18 本	(3+6)×2=18
0	ターンバックル	25φ J&E	9 個	3+6=9
D	ターンバックル継手	9t×50×123	9 個	3+6=9
○	宙吊用アンカー	D29-1000	2 本	
●	土中用アンカー	R29-1500	15 本	

\* アンカー種別（宙吊用・土中用）は、施工前に調査を行い、変更が必要な場合は設計計算書を基に監督員と協議すること。

\* ロープ1本に対し連絡部材幅広を差し引く（巻付グリップ -0.20m×2）

部材数量表

記号	名 称	規 格・寸 法	数 量	計 算 式
—	縦ロープ	16φ 3×7 6/0	19.2 m	20.00 - 0.20×2×2=19.20
—	横ロープ	16φ 3×7 6/0	72.0 m	75.00 - 0.20×2×5=72.00
+	クロスクリップ	大	10 個	2×5=10
+	巻付グリップ	16φ用	14 本	(2+5)×2=14
0	ターンバックル	25φ J&E	7 個	2+5=7
D	ターンバックル継手	9t×50×123	7 個	2+5=7
○	宙吊用アンカー	D29-1000	2 本	
●	土中用アンカー	R29-1500	12 本	

\* アンカー種別（宙吊用・土中用）は、施工前に調査を行い、変更が必要な場合は設計計算書を基に監督員と協議すること。

\* ロープ1本に対し連絡部材幅広を差し引く（巻付グリップ -0.20m×2）

部材数量表

記号	名 称	規 格・寸 法	数 量	計 算 式
—	縦ロープ	16φ 3×7 6/0	19.2 m	20.00 - 0.20×2×2=19.20
—	横ロープ	16φ 3×7 6/0	22.2 m	24.00 - 0.20×2×3=22.20
+	クロスクリップ	大	4 個	2×2=4
+	巻付グリップ	16φ用	8 本	(2+2)×2=8
0	ターンバックル	25φ J&E	4 個	2+2=4
D	ターンバックル継手	9t×50×123	4 個	2+2=4
○	宙吊用アンカー	D29-1000	2 本	
●	土中用アンカー	R29-1500	6 本	

\* アンカー種別（宙吊用・土中用）は、施工前に調査を行い、変更が必要な場合は設計計算書を基に監督員と協議すること。

\* ロープ1本に対し連絡部材幅広を差し引く（巻付グリップ -0.20m×2）

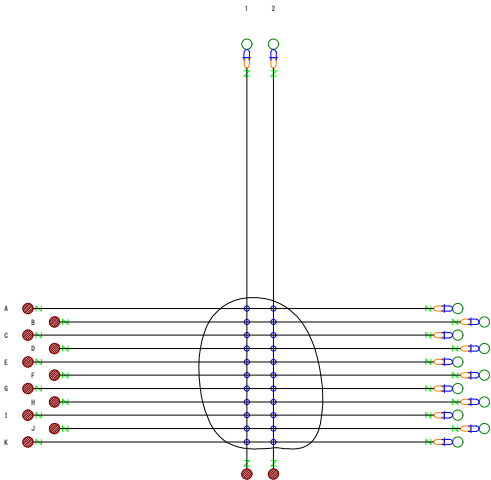
工事名	公共土木施設災害復旧事業（入佐5地区）工事
事業名	公共土木施設災害復旧事業
工事場所	鹿児島市 犬迫町
図面種類	ロープ掛工 展開図 (1/2)
図面番号	全33の17
作成年月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課	

ロープ掛工 展開図 (2/2)

S=1:100

4 (N0. 40)

No	種	ロープ長
1		15.00
2		15.00
合計		30.00



No	種	ロープ長
A		15.00
B		15.00
C		15.00
D		15.00
E		15.00
F		15.00
G		15.00
H		15.00
I		15.00
J		15.00
K		15.00
合計		165.00

部材数量表

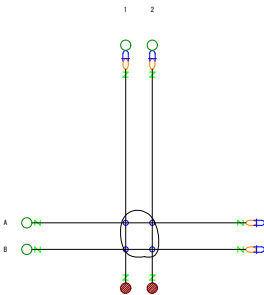
記号	名 称	規 格・寸 法	数 量	計 算 式
—	縦ロープ	16φ 3×7 6/0	29.2 m	20.00 -0.20×2×2=29.20
—	横ロープ	16φ 3×7 6/0	160.6 m	165.00 -0.20×2×11=160.60
+	クロスクリップ	大	22 個	2×11=22
+	巻付グリップ	16φ用	26 本	(2+11)×2=26
0	ターンバックル	25φ J&E	13 個	2×11=13
D	ターンバックル継手	9t×50×123	13 個	2×11=13
○	留断用アンカー	D29-1000	12 本	
●	土中用アンカー	R29-1500	13 本	

\* アンカー種別（留断用・土中用）は、施工前に調査を行い、変更が必要な場合は設計計算書を基に監督員と協議すること。

\* ロープ1本に対し連絡部材幅を差し引く（巻付グリップ -0.20m×2）

5 (N0. 84)

No	種	ロープ長
1		8.00
2		8.00
合計		16.00



No	種	ロープ長
A		8.00
B		8.00
合計		16.00

部材数量表

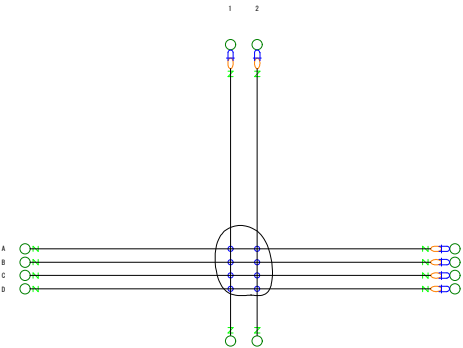
記号	名 称	規 格・寸 法	数 量	計 算 式
—	縦ロープ	16φ 3×7 6/0	15.2 m	16.00 -0.20×2×2=15.20
—	横ロープ	16φ 3×7 6/0	15.2 m	16.00 -0.20×2×2=15.20
+	クロスクリップ	大	4 個	2×2=4
+	巻付グリップ	16φ用	8 本	(2+2)×2=8
0	ターンバックル	25φ J&E	4 個	2+2=4
D	ターンバックル継手	9t×50×123	4 個	2+2=4
○	留断用アンカー	D29-1000	4 本	
●	土中用アンカー	R29-1500	4 本	

\* アンカー種別（留断用・土中用）は、施工前に調査を行い、変更が必要な場合は設計計算書を基に監督員と協議すること。

\* ロープ1本に対し連絡部材幅を差し引く（巻付グリップ -0.20m×2）

6 (N0. 137)

No	種	ロープ長
1		15.00
2		15.00
合計		30.00



No	種	ロープ長
A		15.00
B		15.00
C		15.00
D		15.00
合計		60.00

部材数量表

記号	名 称	規 格・寸 法	数 量	計 算 式
—	縦ロープ	16φ 3×7 6/0	19.2 m	20.00 -0.20×2×2=19.20
—	横ロープ	16φ 3×7 6/0	58.4 m	60.00 -0.20×2×4=58.40
+	クロスクリップ	大	8 個	2×4=8
+	巻付グリップ	16φ用	12 本	(2+4)×2=12
0	ターンバックル	25φ J&E	6 個	2+4=6
D	ターンバックル継手	9t×50×123	6 個	2+4=6
○	留断用アンカー	D29-1000	12 本	
●	土中用アンカー	R29-1500	0 本	

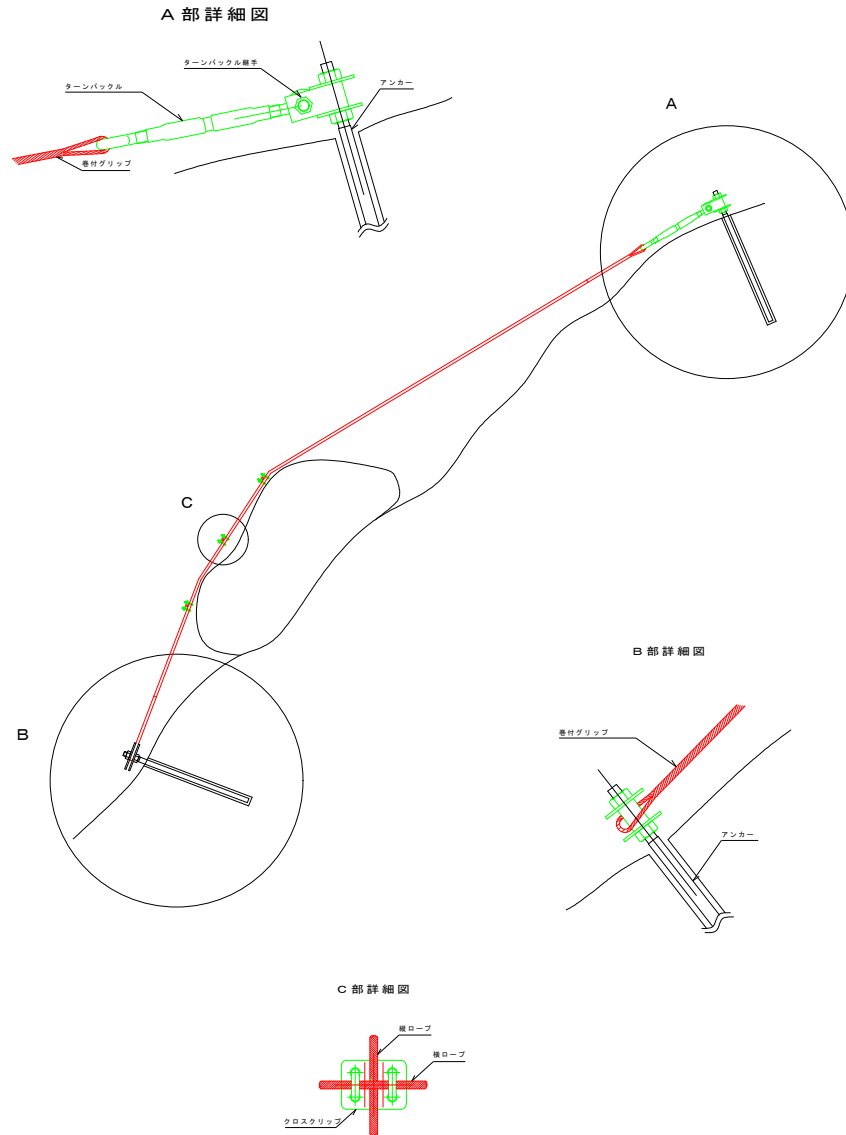
\* アンカー種別（留断用・土中用）は、施工前に調査を行い、変更が必要な場合は設計計算書を基に監督員と協議すること。

\* ロープ1本に対し連絡部材幅を差し引く（巻付グリップ -0.20m×2）

工事名	公共土木施設災害復旧事業（入佐5地区）工事
事業名	公共土木施設災害復旧事業
工事場所	鹿児島市 犬追町
図面種類	ロープ掛工 展開図 (2/2)
図面番号	全33の18
作 成 年 月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課	

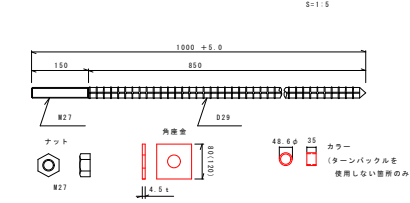
# ロープ掛工 標準断面図・部品詳細図

標準断面図

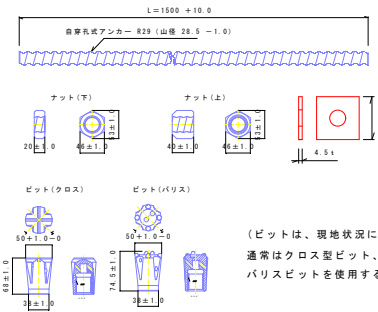


部品詳細図

岩盤用アンカー SD345 D29-1000

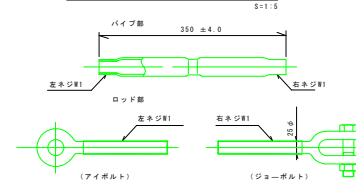


土中用アンカー R29-1500

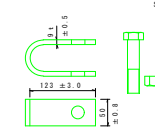


(ビットは、現地状況に応じて使い分ける)  
通常はクロス型ビット、硬岩以上の場合  
パリスビットを使用する

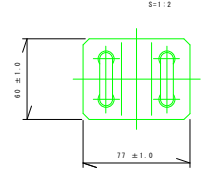
ターンバックル (25φ J&E)



ターンバックル継手 9t×50×123

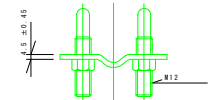


クロスカリブ (大)



ワイヤロープ

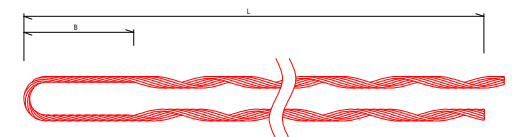
(16φ 3×7 6/0)



巻付グリップ 16φ用

S=1:5

ロープ径	L	B
16φ	1100 ±50	200



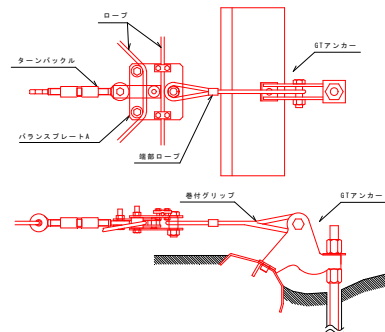
\* 部材は、溶融亜鉛めっき仕上げ (JIS H8641 HDZ-35 等)

工事名	公共土木施設災害復旧事業 (入佐5地区) 工事
事業名	公共土木施設災害復旧事業
工事場所	鹿児島市 犬追町
図面種類	ロープ掛工 標準断面図・部品詳細図
図面番号	全33の19
作成年月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課	

# ロープ伏工 標準断面図

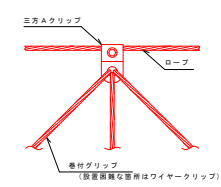
S=1:100

A部詳細図

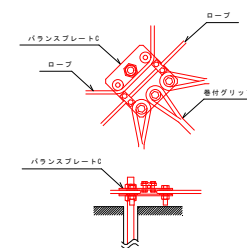


A、F

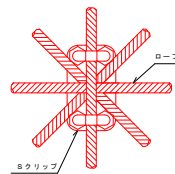
F、J部詳細図



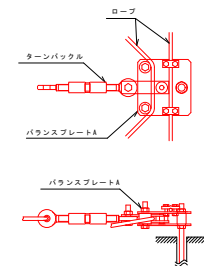
B部詳細図



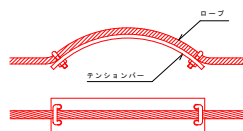
G部詳細図



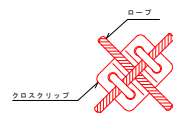
C部詳細図



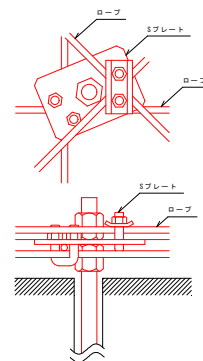
H部詳細図



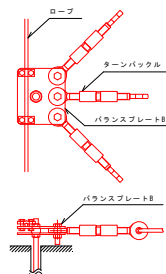
I部詳細図



D部詳細図



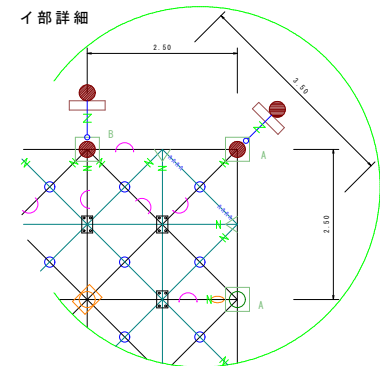
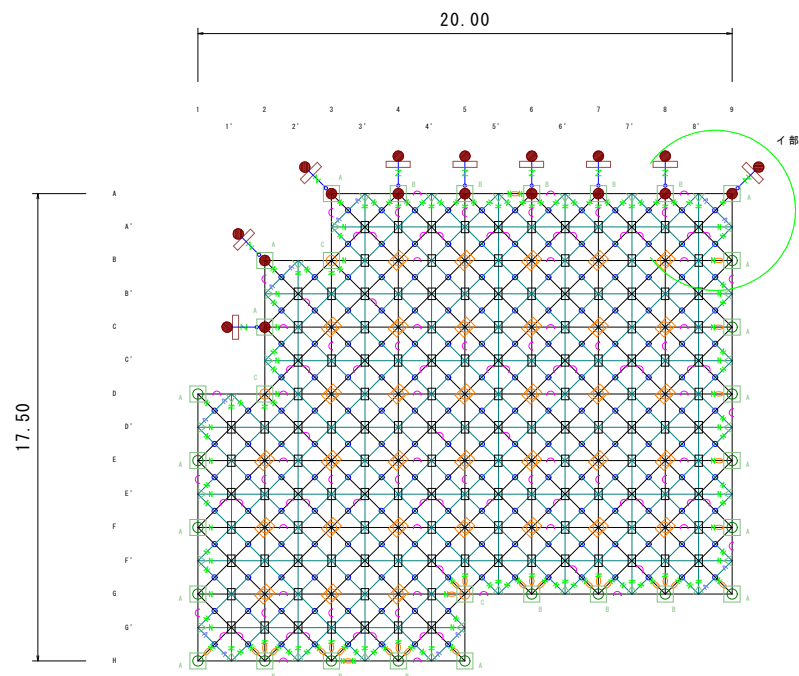
E部詳細図



E、J

工事名	公共土木施設災害復旧事業（入佐5地区）工事		
事業名	公共土木施設災害復旧事業		
工事場所	鹿児島市 犬追町		
図面種類	ロープ伏工 標準断面図		
図面番号	全33の20	作成年月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課			

ロープ伏工 展開図  
S=1:100



部材数量表

記号	名 称	規 格・寸 法	数 量	
	架設索類		300.0 m <sup>2</sup>	
+	縦ロープ・横ロープ	12φ 3×7 6/0	574.0 m	165.3 m
×	斜めロープ	〃		314.9 m
□	外周ロープ	〃		72.8 m
+	補助縦横ロープ	〃	架設内 563.8 m	235.2 m
×	補助斜めロープ	〃		328.6 m
			実延長 572.2 m	235.2 m
				337.0 m
+	クロスクリップ	小	192 個	
+	巻付グリップ	12φ用	138 本	
+	ワイヤークリップ	12φ用	56 個	
+	Sクリップ	4.5×100×60	129 個	
+	テンションバー	6t×50×260	110 個	
+	ターンバックル	22φ E6E	31 個	
+	三方Aクリップ	小	30 個	
+	Sプレート	9 t×180×125	34 個	
+	岩部用支点アンカー	D29-1000	37 本	
+	土中用支点アンカー	R29-1500	0 本	
+	岩部用端部アンカー	D29-1000	18 本	
+	土中用端部アンカー	R29-1500 (R型鋼板付)	9 本	
+	土中用端部アンカー	R29-1500	9 本	
+	バランスプレートA型	6 t×200×200	16 個	
+	バランスプレートB型	6 t×200×170	11 個	
+	バランスプレートC型	6 t×200×200	2 個	
+	巻付グリップ	16φ用	9 本	
+	端部ロープ (アイロック)	16φ 3×7 6/0 L:2.0	9 本	

- \* 縦、横、斜めロープ1本に対し連結部材相当量を差し引く  
(ターンバックル等 -1.00m、巻付グリップ -0.16m×2)
- \* 斜めロープは実延長より下辺までロープを1本で構成する
- \* 外周ロープは 50m/本 以下で構成する  
外周ロープ1本に対し連結部材相当量を差し引く  
(ターンバックル -0.30m、巻付グリップ -0.16m×2)
- \* 実延長は、補助ロープ両端の折返し長を含む  
(端部折返し長 -0.60m×2)

- \* ロープの端部処理に使用(両端 2本)
- \* 巻付グリップが設置困難な箇所を使用
- \* 端部折り返し部に 4個
- \* 主ロープの2スパンに 1個
- \* 主ロープ 1本に 1個

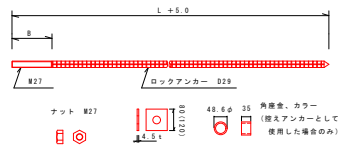
- \* 端部ロープに使用する

工事名	公共土木施設災害復旧事業（入佐5地区）工事		
事業名	公共土木施設災害復旧事業		
工事場所	鹿児島市 犬迫町		
図面種類	ロープ伏工 展開図		
図面番号	全33の21	作成年月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課			

## ロープ伏工 部品詳細図

岩部用アンカー SD345 D29

アンカー長	L	B	ナット
L=1000	1000	150(Ⅱ27)	2
L=1500	1500	150(Ⅱ27)	2
L=2000	2000	150(Ⅱ27)	2

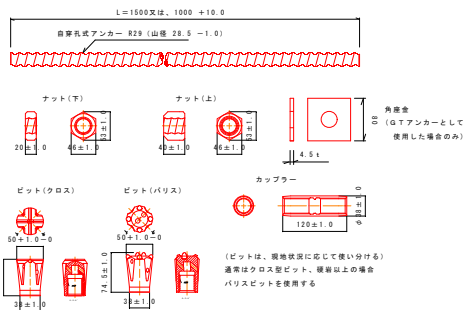


土中用アンカー R29

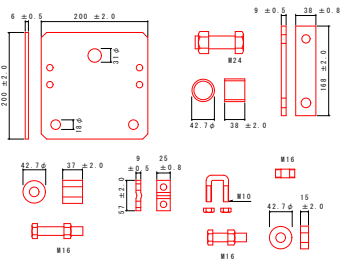
---

S=1:5

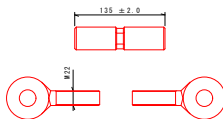
アンカー長	貫穿孔	ビット	カブラー	ナット
L=1500	1500	1	0	2
L=2000	1000+1000	1	1	2
L=2500	1500+1000	1	1	2



バランスプレートA (※2)



ターンバックル (22φ E&E)



ワイヤーロープ  
(12φ 3×7 6/0)



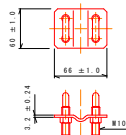
ワイヤークリップ  
(12φ用)  
(JIS B 2809)



クロスクリップ (小)

---

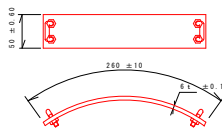
S=1:4



テンションバー (81)

---

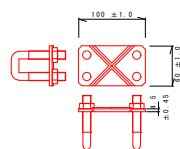
S=1:4



\$クリップ

---

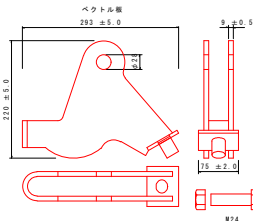
\$=1:4



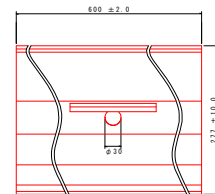
GIアンカー

---

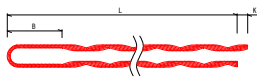
S=1:5



R型銅板



巻付グリップ 12φ(16)用

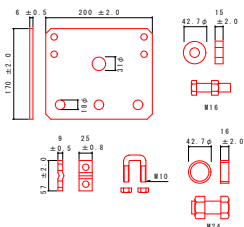


ロープ径	L	B	K
12φ	900 +50	160	30 ±15
16φ	1100 +50	200	30 ±15

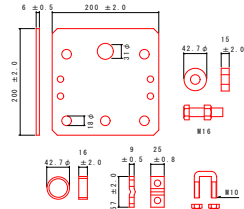
バランスプレートB (表2)

---

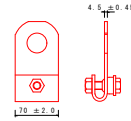
S=1:5



バランスプレートC (※2)



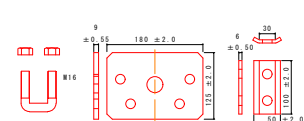
三方Aクリップ（小）



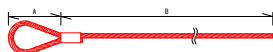
Sプレート

---

S=1:5



端部ロープ（アイロック）16φ用



名称	ロープ径	A	B
L=2.0	16φ	200 ± 50	2000 ± 200
L=3.0	16φ	200 ± 50	3000 ± 200
L=4.0	16φ	200 ± 50	4000 ± 200

## 仕様部材の特徴

※1. テンションバー（張力維持具）

季節によるワイヤーロープの緩み緊張を緩和し年間を通じてワイヤーロープの張力を保持する部材。

## ※2. バランスプレート

ワイヤーロープの張力を分散させる構造になっており、抑止力を均等にさせる部材。

※ 部材は、溶融亜鉛めっき仕上げ(JIS H8641 HDZ-35 等)

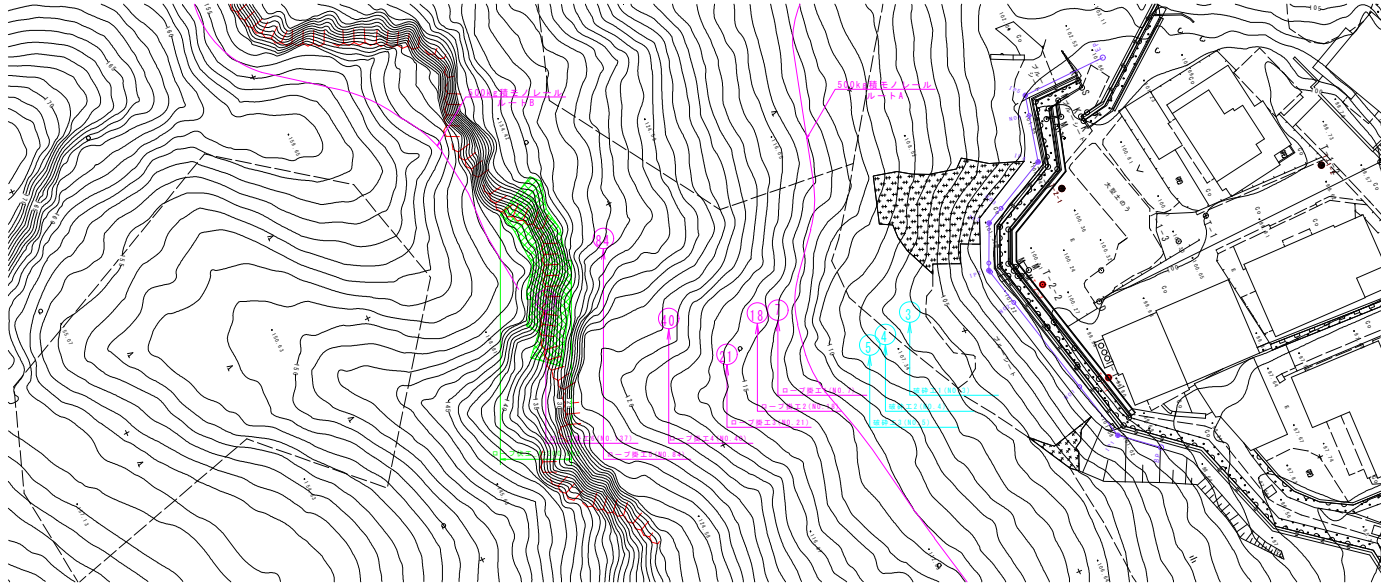
工事名	公共土木施設災害復旧事業（入佐5地区）工事		
事業名	公共土木施設災害復旧事業		
工事場所	鹿児島市 犬迫町		
図面種類	ロープ伏工 部品詳細図		
図面番号	全33の22	作成年月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課			



# ロープ掛工・ロープ伏工 施工計画図

平面図

S=1:250



## 作業手順（参考）

### 1. 準備工

観網の取付は法面より2m以上入った立木（φ20cm以上）に2箇所以上を架絡します。  
立木のない場合は下面のようにアンカーを打設し、使用します。いずれの場合も2点取りを原則とします。架設範囲内で施工の妨げとなる樹木や小木・雑草等を除去します。

### 2. マーキング

ロープ伏工は、ワイヤーロープを斜面に沿わせて架設するため、  
縦ロープ、横ロープ間隔は斜面の凹凸の影響を受けやすいので、架設区域の端部  
もしくは中央部のいずれか適りの良い箇所に法長方向及び延長方向にロープ間隔  
基準軸を設けます。基準軸が決まったら、法長方向基準軸に対しては横ロープ間隔、  
延長方向基準軸に対しては縦ロープ間隔を割付けます。又ロープ間隔は広がり過ぎ  
ないように割付け、原則として設計間隔の±25%以内としこれ以上となる場合は、  
基準軸の補正を行います。

### 3. アンカー設置工 （岩部用）

マーキングしたアンカー位置に、削孔機（先端ビット）をセットし、  
規定長（ロッド長-200mm）まで削孔を行い、削孔後スケールを  
孔内に挿入し削孔長の確認を行います。削孔長の確認後、固定  
剤（特殊セメント）を孔底まで挿入し、アンカーを挿入します。規定  
の長さまで挿入後、定着させ 設置完了

（土中用）  
マーキングしたアンカー位置に、削孔機をセットし、シャンクアダプタとアンカー、  
ビットを取付け削孔（自穿孔）を行います。規定長（使用7ft-長 - 200mm）を確保し、  
アンカー体を挿入したら、注入アダプターをアンカー頭部にセットし適度な粘度に調整した  
セメントミルクをグラウトポンプにて注入します。  
注入したセメントミルクがアンカー体中空を先端より流出し孔底より充填  
され、孔口からオーバーフローしたら 注入定着完了

### 4. ロープ設置工

マーキングにて割出した寸法にワイヤーロープを切断し端部片方に巻付グリップをセットします。  
架設位置までの人力作業で持上げ、ロープにセットされた巻付グリップを先に設置したアンカー  
に取付固定し、架設内の交点アンカーを通して反対端部より張線器を使用し張上げます。  
この時、立木等がない場合は、アンカーを共有し固定します。（各部品を組めた状態で通しておく）  
端部アンカーの設置には、張線器を使用し、巻付グリップで固定します。

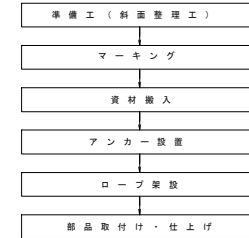
### 5. 部品取付け・仕上げ

各部品（クロスクリップ・Sクリップ等）は、所定の数量を不足のないように、  
奥観も考慮して取付けます。

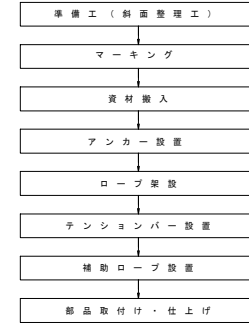
### 6. 片付け

機材設置場所等は復元し、材料片・伐木等は清掃除去します。

### ロープ掛工・施工フローチャート



### ロープ伏工



工事名	公共土木施設災害復旧事業（入佐5地区）工事		
事業名	公共土木施設災害復旧事業		
工事場所	鹿児島市 犬迫町		
図面種類	ロープ掛工・ロープ伏工 施工計画図		
図面番号	全33の23	作成年月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課			

# 転石破碎（セリ矢）計画図

S=1:20

破碎工（セリ矢）

No. 1

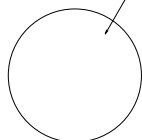
$$\frac{W = 2.209 \text{ kN}}{E = 5.460 \text{ kJ}}$$



$$0.56 \times 0.56 \times 0.27$$

No. 2

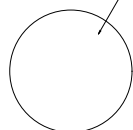
$$\frac{W = 13.287 \text{ kN}}{E = 17.600 \text{ kJ}}$$



$$0.84 \times 0.78 \times 0.78$$

No. 6

$$\frac{W = 10.210 \text{ kN}}{E = 48.76 \text{ kJ}}$$

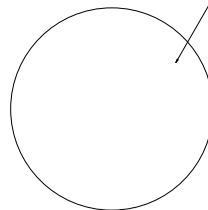


$$1.02 \times 0.77 \times 0.50$$

破碎工（セリ矢）

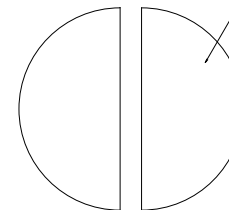
No. 3

$$\frac{W = 47.320 \text{ kN}}{E = 84.500 \text{ kJ}}$$



$$1.30 \times 1.25 \times 1.12$$

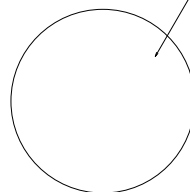
2分割以上にすること



$$\frac{W = 23.660 \text{ kN}}{E = 42.250 \text{ kJ}}$$

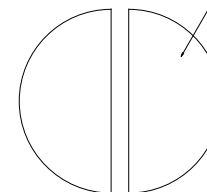
No. 4

$$\frac{W = 35.235 \text{ kN}}{E = 70.870 \text{ kJ}}$$



$$1.69 \times 0.99 \times 0.81$$

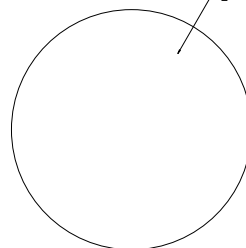
2分割以上にすること



$$\frac{W = 17.618 \text{ kN}}{E = 35.440 \text{ kJ}}$$

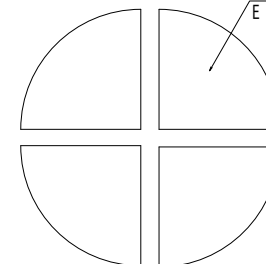
No. 5

$$\frac{W = 78.938 \text{ kN}}{E = 156.53 \text{ kJ}}$$



$$1.80 \times 1.67 \times 1.01$$

4分割以上にすること



$$\frac{W = 19.735 \text{ kN}}{E = 39.130 \text{ kJ}}$$

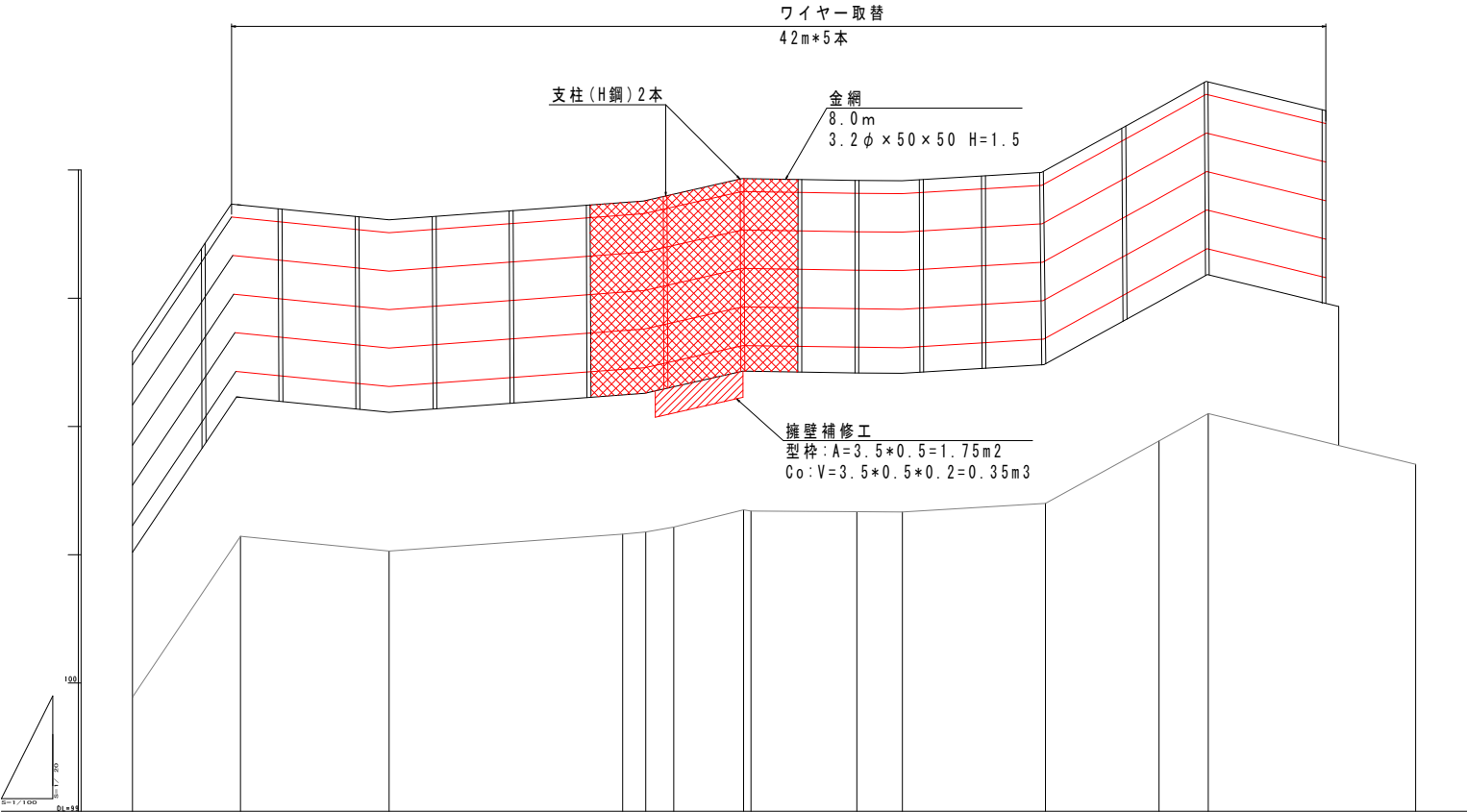
※ 転石の小割は、斜面の下に人がいないことを確認して実施すること。

※ 転石の破碎にあたっては、できるだけ、岩石の摂理に沿って亀裂を発生させるように穿孔すると効果的である。

工事名	公共土木施設災害復旧事業（入佐5地区）工事		
事業名	公共土木施設災害復旧事業		
工事場所	鹿児島市 犬迫町		
図面種類	転石破碎（セリ矢）計画図		
図面番号	全33の24	作成年月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課			

擁壁・防護柵復旧工 縦断面図

V=1：20  
S=1：100



地 蔵 高	98.881	101.145	101.029	101.162	101.178	101.216	101.350	101.336	101.333	101.400	101.887	102.101	101.705
施 照	0.000	4.209	10.000	19.099	20.000	21.099	23.810	28.231	30.000	35.579	40.000	41.914	50.000
準 照	0.000	4.209	5.791	9.099	0.901	1.099	2.211	4.132	1.769	5.579	4.421	1.914	8.086
測 点 名	BP	IP1	NO.1	NO.2-0.9	NO.2	NO.2+1.1	IP2 NO.2+1.0	IP3	NO.3	IP4	NO.4	IP5	EP

工事名	公共土木施設災害復旧事業（入佐5地区）工事		
事業名	公共土木施設災害復旧事業		
工事場所	鹿児島市 大迫町		
図面種類	擁壁・防護柵復旧工 縦断面図		
図面番号	全33の25	作成年月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課			

# ロックフェンス一般図

RF-5-BP (Znめっき)

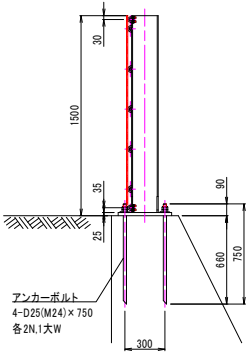
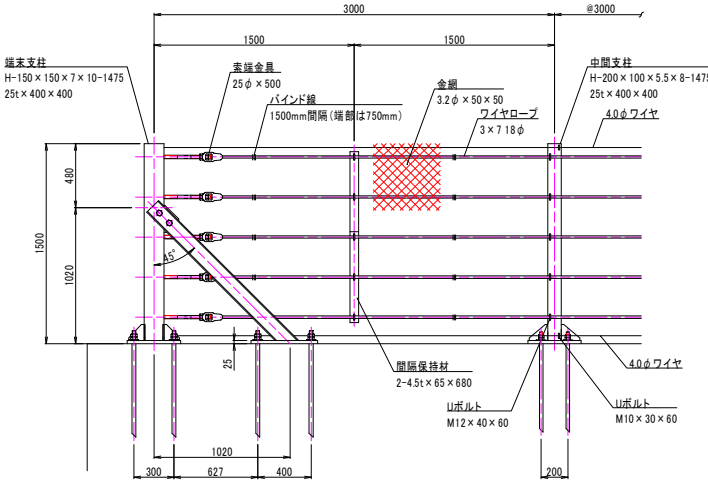
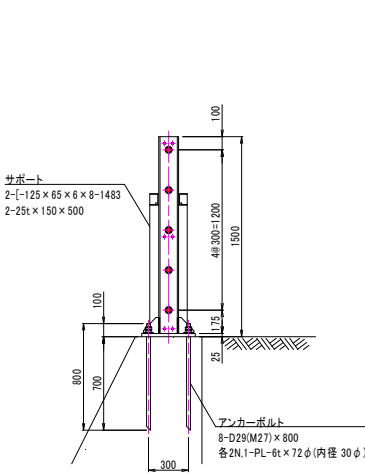
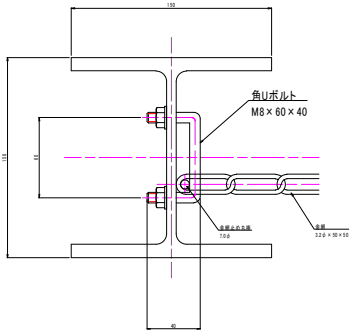
正面図 S=1/20

(山側視)

中間支柱側面図 S=1/20

端末支柱金網取付部詳細図 S=1/2

端末支柱側面図 S=1/20



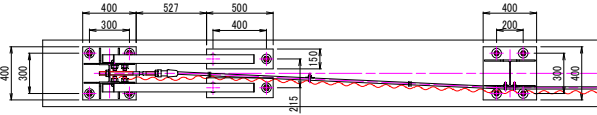
部品明細表

構成	部品名	寸法 (mm)	表面処理
フェンス	ワイヤロープ	3 x 7 18φ	Znめっき
	金網	3.2φ x 50 x 50	Znめっき
	ワイヤ	4.0φ 2本	Znめっき
中間支柱	中間支柱	H-200 x 100 x 5.5 x 8	Znめっき
	ベースプレート	25t x 400 x 400	Znめっき
	アンカーボルト	D25(M24) x 750	Znめっき
	Uボルト	M12 x 40 x 60	Znめっき
	Uボルト	M10 x 30 x 60	Znめっき
端末支柱	端末支柱	H-150 x 150 x 7 x 10	Znめっき
	ベースプレート	25t x 400 x 400	Znめっき
	アンカーボルト	D29(M27) x 800	Znめっき
	サポート	[-125 x 65 x 6 x 8	Znめっき
	ベースプレート	25t x 150 x 500	Znめっき
	アンカーボルト	D29(M27) x 800	Znめっき
	ボルト	M27 x 60	Znめっき
	金網止め丸棒	7φ	Znめっき
	角Uボルト	M8 x 60 x 40	Znめっき
	索端金具	25φ x 500	Znめっき
間隔材	間隔保持材	4.5t x 65 x 680	Znめっき
	Uボルト	M12 x 40 x 60	Znめっき

※ボルトM27 x 60は強度区分8.8とする

平面図 S=1/20

(道路側)



(山側)

\*下り勾配の場合、各勾配により、サポートアンカー位置、ピッチ等がそれぞれ異なりますのでご注意下さい。

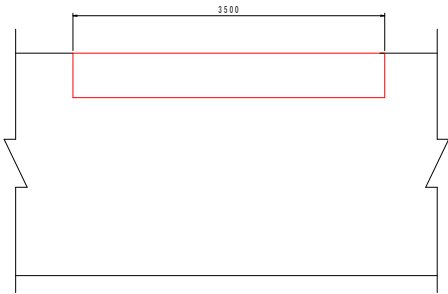
工事名	公共土木施設災害復旧事業 (入佐5地区) 工事
事業名	公共土木施設災害復旧事業
工事場所	鹿児島市 犬追町
図面種類	ロックフェンス一般図
図面番号	全33の26
作成年月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課	

擁壁・防護柵復旧工 展開図

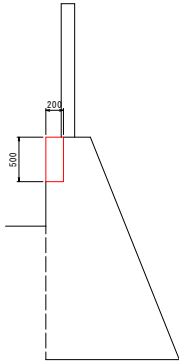
S=1:30

擁壁工（復旧）

正面図

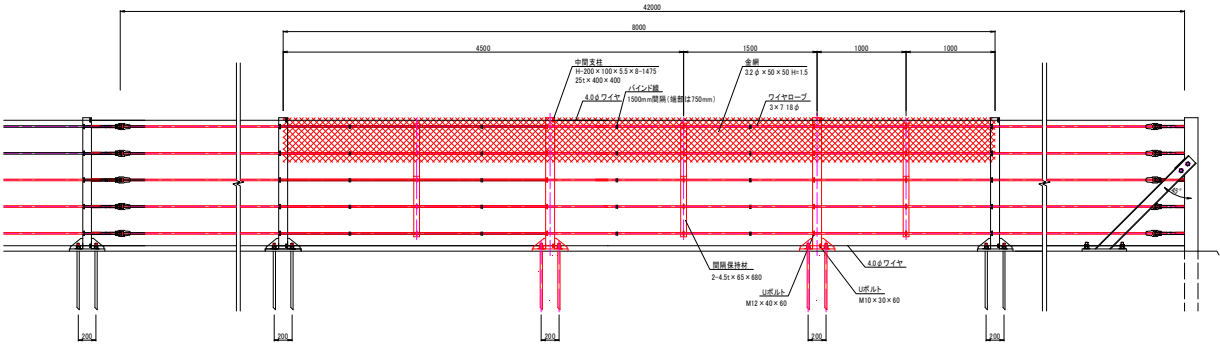


断面図



擁壁工（復旧） 数量計算					一式当り	
種 別	規 格	計 算 式		単 位	数 量	
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	$3.5 \times 0.5 \times 0.2$	=	0.35	m3	0.35
一般型枠	小型一般	$3.5 \times 0.5$	=	1.75	m2	1.8
コンクリートがら	無筋	$3.5 \times 0.5 \times 0.2$	=	0.35	m3	0.35
コンクリート カッター		$0.50 + 0.50 + 3.50 + 3.50$	=	8.00	m	8.00
新旧コンクリート用 接着剤		$(0.5 + 0.2) \times 3.5$	=	2.45	m2	2.45

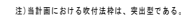
防護柵工（復旧）



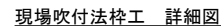
落石防護柵工（復旧） 数量計算					一式当り	
種 別	規 格	計 算 式		単 位	数 量	
ワイヤロープ	3 × 7 G/O 18 φ 5本	42.00	=	42.00	m	42.00
金網	3.2 φ × 50 × 50 H=1.5m	8.00	=	8.00	m	8.00
ワイヤ	4.0 φ 2本	8.00	=	8.00	m	8.00
中間支柱	H-200 × 100 × 5.5 × 8	2.00	=	2.00	本	2.00
アンカーボルト	D25(M24) × 750	2.00 × 4.00	=	8.00	本	8.00
Uボルト	M12 × 40 × 60	2.00 × 5.00 + 3.00 × 5.00	=	25.00	個	25.00
	M10 × 30 × 60	2.00 × 2.00	=	4.00	個	4.00
間隔保持材	4.5t × 65 × 680	3.00	=	3.00	本	3.00

工事名	公共土木施設災害復旧事業（入佐5地区）工事		
事業名	公共土木施設災害復旧事業		
工事場所	鹿児島市 犬迫町		
図面種類	擁壁・防護柵復旧工 展開図		
図面番号	全33の27	作成年月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課			

現場吹付法枠工 (F200 2000×2000) S=1:50



法榘工断面図



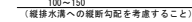
## 縱排水路工



U型側溝 S=1:20  
300×300



法肩排水工（ヤゲン）  $S=1:20$   
 $W=0.90$



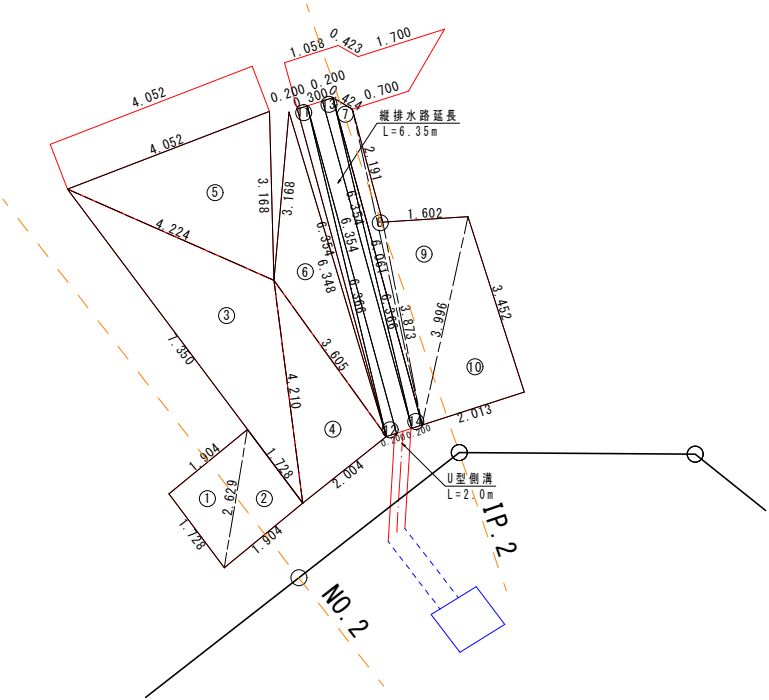
工事名	公共土木施設災害復旧事業（入佐5地区）工事		
事業名	公共土木施設災害復旧事業		
工事場所	鹿児島市 犬迫町		
図面種類	法面工 縦排水溝 小構造物 構造図		
図面番号	全33の28	作成年月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課			

法面工（復旧） S=1:50

法面工 展開図

法肩排水路工

$$L = (4.052 + 1.058 + 0.423 + 1.700 + 4.052 + 0.200 + 0.300 + 0.200 + 0.424 + 0.700) \times 0.5$$
$$= 6.554 \text{ (m)}$$



ヘロンの公式  
$$A = s(s-a)(s-b)(s-c)$$
$$s = \frac{a+b+c}{2}$$

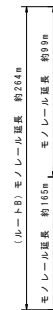
法枠工 (F200) 求積表 (中詰材: 6-ラスコンクリート t=10cm: 補修工で計上)

記号	a	b	c	s	面積 m <sup>2</sup>
1	1.728	1.904	2.629	3.131	1.645
2	2.629	1.728	1.904	3.131	1.645
3	7.350	4.224	4.210	7.892	7.601
4	4.210	3.605	2.004	4.910	3.610
5	4.224	3.168	4.052	5.722	6.046
6	3.605	6.348	3.168	6.561	3.744
7	6.061	0.424	6.354	6.420	0.955
8	6.061	2.191	3.873	6.063	0.321
9	3.873	1.602	3.996	4.736	3.079
10	3.996	3.452	2.013	4.731	3.477
11	0.200	6.354	6.366	6.460	0.635
12	6.366	0.200	6.354	6.460	0.635
13	0.200	6.354	6.366	6.460	0.635
14	0.200	6.354	6.366	6.460	0.635
面積 m <sup>2</sup>					34.663

工事名	公共土木施設災害復旧事業（入佐5地区）工事		
事業名	公共土木施設災害復旧事業		
工事場所	鹿児島市 犬追町		
図面種類	法面工（復旧） 展開図		
図面番号	全33の29	作成年月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課			



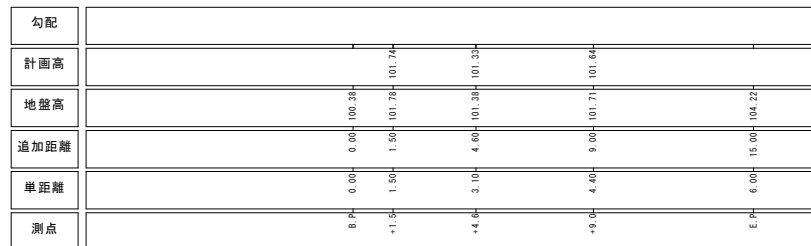
S=1 : 1000



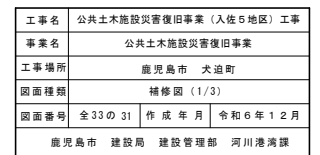
工事名	公共土木施設災害復旧事業（入佐5地区）工事		
事業名	公共土木施設災害復旧事業		
工事場所	鹿児島市 犬迫町		
図面種類	モノレール設置ルート図		
図面番号	全33の30	作成年月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課			

施設補修工（取付水路工・帯工）

$S=1:100$

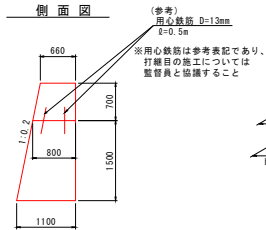
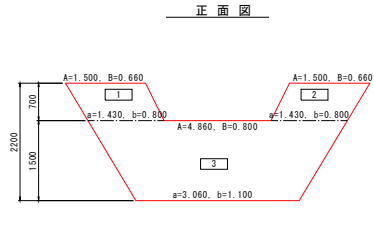


S=1 : 100

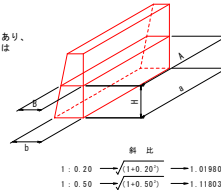


### 帶工構造図

### コンクリート詳細図



数量計算式  
(オペリスク)



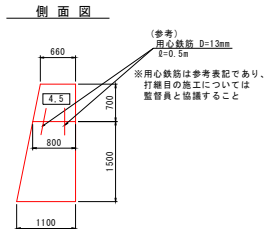
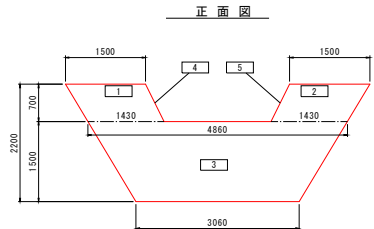
コンクリート

$$V = H/6 \{ (2 \cdot a + A) \times b + (2 \times A + a) \times B \}$$

型 种  
 $A = 1/2 \times (A + a) \times H \times \text{斜比}$

ブロック	下 面		上 面		体積 (m3)	
	高さ					
	h	幅 (a)	奥行き (b)	幅 (A)	奥行き (B)	
1	0.700	1.430	0.800	1.500	0.660	0.75
2	0.700	1.430	0.800	1.500	0.660	0.75
3	1.500	3.060	1.100	4.860	0.800	5.58
合計						7.08

型 枠 詳 細 図



(参考)  
 用心鉄筋  $D=13\text{mm}$   
 $l=0.5\text{m}$

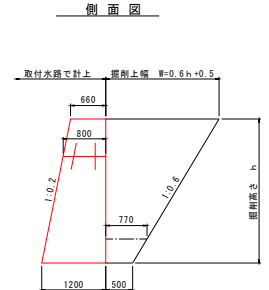
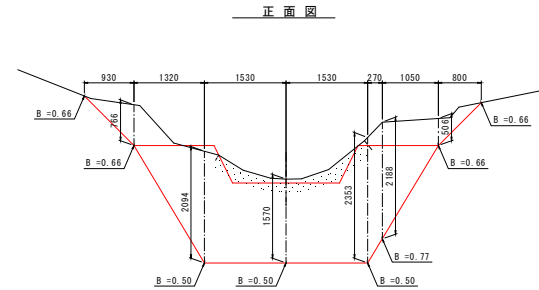
※用心鉄筋は参考表記であり、打継目の施工については監督員と協議すること

プロック	区分	勾配	斜率	計算式	単位	単位
1	一般型枠	1:0.0	-	$1/2 \times (1.50 + 1.43) \times 0.70 = 1.03$	1.03	m <sup>3</sup>
2	一般型枠	1:0.0	-	$1/2 \times (1.50 + 1.43) \times 0.70 = 1.03$	1.03	m <sup>3</sup>
3	一般型枠	1:0.0	-	$1/2 \times (4.86 + 3.06) \times 1.50 = 3.69$	5.94	m <sup>3</sup>
合計	一般型枠				8.00	m <sup>3</sup>

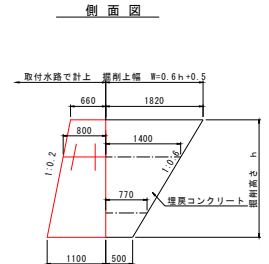
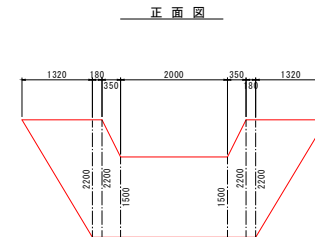
ブロック	区分	勾配	斜率	計算式	単位	単位
1, 2, 3	一般型枠	1:0.2	1.0198	$8.00 \times 1.0198 = 8.16$	8.16	m

ブロック	区分	勾配	斜率	計算式	単位	単位
4.5	一般型枠	1:0.5	1.1180	$1/2 \times (0.66 + 0.80) \times 0.70 + 1.118 \times 2 = 1.142$	1.14	m <sup>2</sup>

床 掘 図

[illegible]

埋 戾 図

[illegible]

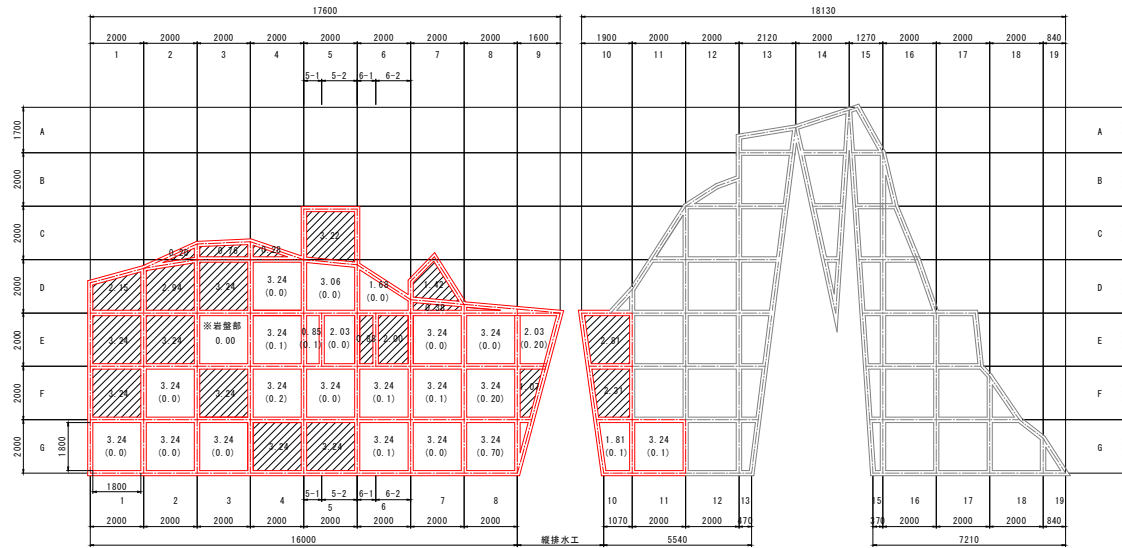
工事名	公共土木施設災害復旧事業（入佐5地区）工事		
事業名	公共土木施設災害復旧事業		
工事場所	鹿児島市 犬迫町		
図面種類	補修図（2/3）		
図面番号	全33の32	作成年月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理課 河川港湾課			

# 補修図 (3/3)

吹付法枠中詰工

展開図

S=1:100



※枠内の数字は中詰面積を表す。  
※ ( ) 内の数字は吸出し深さt(m)を表す。  
※斜線部は中詰材が流出していない箇所を示す。(非流出箇所)

中詰面積(m2)-非流出箇所

	1	2	3	4	5		6		7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
					5-1	5-2	6-1	6-2													
A																					
B																					
C		0.29	0.76	0.28	3.22																
D	2.15	2.94	3.24						1.80												
E	3.24	3.24	0.00				0.88	2.00													
F	3.24	3.24									1.07	2.31									
G	8.63	6.38	7.24	3.52	6.46		2.88		1.80		1.07	5.12									
合計											43.10										

中詰面積計算表(m2)-流出箇所

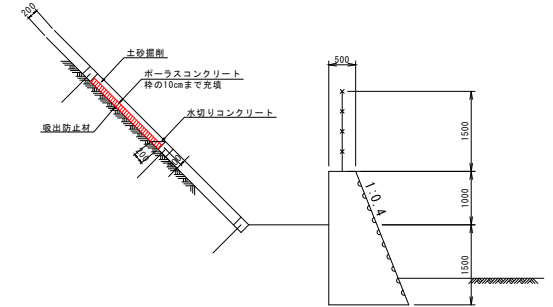
	1	2	3	4	5		6		7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
					5-1	5-2	6-1	6-2													
A																					
B																					
C																					
D				3.24		3.06		1.68													
E				3.24	0.85	2.03			3.24	3.24	2.03										
F		3.24		3.24			3.24		3.24	3.24											
G	3.24	3.24	3.24				3.24		3.24	3.24		1.81	3.24								
小計	3.24	6.48	3.24	9.72	9.18		8.16		9.72	9.72	2.03	1.81	3.24								
合計											66.54										

吸出し深さ計算表(m)

	1	2	3	4	5		6		7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
					5-1	5-2	6-1	6-2													
A																					
B																					
C																					
D				0		0		0													
E				0.10	0.10	0.00			0.00	0.00	0.20										
F		0.00		0.20			0.10		0.10	0.20											
G	0.00	0.00	0				0.10		0.00	0.70		0.10	0.10								
小計	0.00	0.00	0.00	0.30	0.10		0.20		0.10	0.90	0.20	0.10	0.10								
合計											2.00										
平均											0.09										

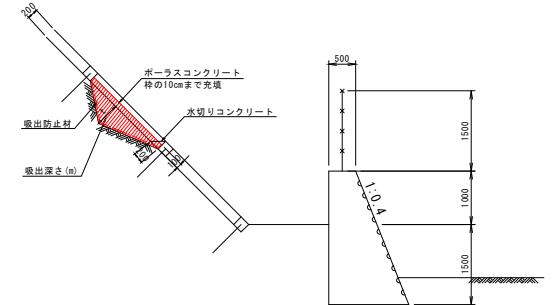
標準断面図 (非流出箇所)

S=1:50



標準断面図 (流出箇所)

S=1:50



水切りコンクリート体積計算表(m3)

	1	2	3	4	5		6		7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
					5-1	5-2	6-1	6-2													
A																					
B																					
C		0.023	0.036	0.026	0.036																
D	0.036	0.036	0.036	0.036	0.036		0.036		0.036	0.036											
E	0.036	0.036	0.036	0.036	0.036		0.036		0.036	0.036	0.036	0.018	0.029								
F	0.036	0.036	0.036	0.036	0.036		0.036		0.036	0.036	0.036	0.007	0.023								
G	0.036	0.036	0.036	0.036	0.036		0.036		0.036	0.036	0.036		0.018	0.036							
小計	0.144	0.167	0.144	0.170	0.176		0.140		0.144	0.108	0.025	0.070	0.036								
合計											1.324										

数量表

名 称	規 格	計 算 式	数 量	単位
ポーラスコンクリート		66.54*(0.09-0.01)+(43.10+66.54)*0.10-1.324*3/4=15.294	15.3	m3
吸出防止材		43.10+66.54=109.64	109.6	m2
水切りコンクリート	σ ck=18KN/m2	1.324	1.3	m2

工事名	公共土木施設災害復旧事業 (入佐5地区) 工事
事業名	公共土木施設災害復旧事業
工事場所	鹿児島市 犬迫町
図面種類	補修図 (3/3)
図面番号	全33の33
作成年月	令和6年12月
鹿児島市 建設局 建設管理部 河川港湾課	